

## 栗原市立尾松小学校閉校記念誌



ありがとう



あいさつ	
尾松小学校 閉校に寄せて	栗原市長 佐藤 勇 1
尾松小学校の閉校に寄せて	栗原市教育委員会教育長 亀井 芳光 2
不易と流行 ～新しい学校の創造に向けて～	
	栗原市立尾松小学校長 野澤 克己 3
尾松小学校閉校によせて	栗原市立尾松小学校PTA会長 鈴木 亘 3
あゆみ	
尾松小学校の沿革（明治6年開校～平成24年閉校）	4～9
桜田・栗原・片子沢小学校の沿革	10～11
学校の概要	
学区・位置図・学校平面図・校舎配置図	12
校歌・校章	
校歌・校旗・校章	13
歴代校長	
歴代校長	14
歴代PTA会長	
歴代PTA会長	14
写真で綴る思い出	
なつかしの校舎	15
運動会	16
修学旅行	17
いろいろな思い出	18～19
寄稿	
歴代校長より	
尾松小学校閉校にあたって「いいときに いいところで いいひとたちに」	
	第42代校長 佐藤 吉彦 20
尾松小学校閉校にあたって	第43代校長 藤田 津悟 21
出会いに恵まれた2年間 ～ありがとう～ がんばれ がんばれ 尾松っ子	
	第44代校長 菅原 敏郎 22
元職員より	
熱気あふれる学校	千葉 理恵子 23
尾松小学校ありがとう	菅原 太 23
学芸会での親子共演	菅原 ひろみ 24
尾松小学校での7年間	加藤 美樹子 24
尾松小学校での思い出	加藤 忠 24





## 寄稿

## 卒業生より

追 想	昭和35年度卒	今野久悦	25
尾松小学校の思い出	昭和35年度卒	山本久雄	25
私と子どもの尾松小の思い出	昭和37年度卒	伊藤悟	26
学校行事等の思い出	昭和39年度卒	狩野勉	26
思い出の扉を開けて	昭和45年度卒	菅原一栄	27
尾松小学校の思い出	昭和46年度卒	宮澤喜久美	27
心の礎を作ることが出来た学び舎	昭和47年度卒	蜂谷聡	28
懐かしの尾松小学校	昭和52年度卒	氏家吉廣	28
思い出の尾松小学校	昭和52年度卒	渡邊淳	29
麻の中の蓬・・・かな	昭和53年度卒	高橋夕起子	29
我が思い出の尾松小学校 ～閉校に寄せて～	昭和53年度卒	小野寺勝美	30
燃えろ！尾松小	昭和56年度卒	菊池久美	30
「ありがとう！尾松小学校」	昭和59年度卒	舟山みゆき	31
「なかま」	昭和59年度卒	高橋治	31
追 憶	昭和61年度卒	阿部幸誠	32
尾松小学校	平成元年度卒	渋谷洋輔	32
ありがとう、尾松小学校	平成元年度卒	工藤（木村）明子	33
陽だまりの仲間たち	平成7年度卒	佐藤亜沙子	33
感 謝	平成11年度卒	今野勇太	34
尾松小学校によせて	平成13年度卒	伊藤由貴	34
伝統と夢	平成16年度卒	遠藤ひより	35
尾松小学校の思い出	平成18年度卒	吉尾美香	35
変わらないもの	平成19年度卒	安藤寧花	36
僕を大きくしてくれた尾松小学校	平成20年度卒	小野寺春樹	36

## 在校生から（寄せ書き）

1年生	37
2年生	38
3年生	39
4年生	40
5年生	41
6年生	42

## 編集後記

尾松小学校閉校記念誌実行委員会委員長 三浦絵美	43
-------------------------	----





## 尾松小学校 閉校に寄せて

栗原市長 佐藤 勇

秀峰栗駒山の分水嶺が豊かに流れ麓に広がり、市内有数の稲作地帯に位置した山紫水明の尾松の地で、子どもたちに多くの学びを与えてきた尾松小学校が閉校するにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

明治6年に稲屋敷下等小学校として創立以来、稲屋敷、八幡、桜田、栗原と広い尾松地区全体を学区とし、139年という長き歴史を持つ尾松小学校は、地域住民の方々の学校教育に対する御理解、御協力のもと地域の温かな目に守られ、健全な児童育成の伝統を築き上げてこられました。恵まれた教育環境の中、学校及びPTAまた児童個人にわたり幅広い分野で多くの優良受賞をされておりますことは、地域皆様の長年にわたる温かい御支援の賜であり、厚く御礼申し上げます。また、歴代の校長先生をはじめ、教職員、関係者の皆様の並々ならぬ御尽力に対し、深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

さて、長い歴史のある尾松小学校の周辺には、坂上田村麻呂が胆沢・江刺の蝦夷阿弼流為（アテルイ）攻撃に備え陣立てをしたと言われる屯が岡八幡宮や、鳥矢崎地区との境に群する古代豪族一族の墓とされている鳥矢ヶ崎古墳群など、栗原市及び宮城県の指定史跡が多く点在する歴史ある地であり、尾松小学校「屯が岡児童会」の名称の由来にもなっているところであります。開校当時からそれらの地域の特色と周辺の史跡を活かした学習、児童会活動に取り組みられてこられたこともまた、“自分が生まれ育った地域に関心と愛着を持つ”こととして多くの卒業生や保護者、地域の皆様から受け継がれてきた伝統の校風といえます。

また、地域の方の水田をお借りし全校で取り組んできた学校農園は、栗原市の基幹産業である稲作の田植え作業、育成期の水管理の観察、稲刈り作業などをおして収穫の喜びと難しさ、自然と食の有難みを知ることのできる地域環境を活かした貴重な授業の一つであり、教育目標である「心身ともに健康で自ら学びすすんで行動する子どもの育成」を実践的にした素晴らしい取り組みであったと思います。

このように、地域と学校が一体となって共に汗を流し育まれたことは、心身ともに健全な児童育成の成果として、強い精神力と高い集中力を要するスポーツの分野でも発揮されたことは明瞭であります。歴代のわんぱく相撲においては幾度もの全国大会出場を果たし強豪校として知られ、延いては卒業生から国体選手が輩出されるなど栗原市のスポーツ振興においても大変な御貢献をいただいております。

このように歴史と伝統ある当校が、今日の社会的な問題である少子・高齢化の傾向による児童の減少などの背景から、栗原市においても小学校の統廃合が避けられず、本年3月31日をもって校史を閉じることとなりましたことは、非常に残念でなりません。これまで当校を巣立った皆様にとっても、母校の閉校は何事にも代え難い寂しさであり、断腸の思いであると思います。また、地域の皆様の愛惜の念も深いものがあると拝察いたします。

しかし、ここで歴史が終わるのではなく、平成24年度からは「栗駒南小学校」となり姫松地区を学区としてきた宝来小学校と統合され、新たな歴史の幕が開きます。これからも地域の皆様と共に築き上げてきた歴史と伝統、さらに自ら考え高め合う児童の精神が次代へ継承され続けていくよう願うものであります。

今後、学府くりはらの実現に向けて、教師と子どもたちがしっかりと向き合い、じっくりと話し合うことで、分かるまで学び、学校生活に満足感や達成感がこれまで以上に得られる、教育環境づくりを目指すとともに、尾松小学校が育んだ歴史が長く受け継がれ、新しい地域の歴史が築かれていくことを心から御祈念申し上げ、閉校記念誌発刊のあいさつといたします。



世界谷地原生花園





## 尾松小学校の閉校に寄せて

栗原市教育委員会  
教育長 亀井 芳光

平成24年4月、尾松小学校は宝来小学校と再編し、新たに「栗駒南小学校」として現在の地・校舎のもとでスタートすることになりました。再編にあたり、ご理解とご協力をいただきました尾松地区の皆さまに心より感謝申し上げます。

さて、私は、昭和29年4月、昭和の大合併前の旧姫松村立姫松小学校片子沢分校に入学しました。しかし、合併により旧姫松村が旧築館町・旧栗駒町・旧一迫町の三町に分村しました。私の居住する地区は旧栗駒町に合併されたことから、昭和31年4月以来、私は旧栗駒町立宝来小学校片子沢分校で19名の同級生と6年間学び、卒業後、これも又統合された旧尾松中学校に入学しました。

当時、尾松小学校は尾松中学校と隣接していたので、尾松小学校で学んだ多くの友達と出会い、多くのことを学ばせていただきました。そのような意味からも、尾松地区は私にとっての「心のふるさと」であります。

さらに、昭和41年3月、片子沢分校が閉校となり、私の学区は尾松小学校学区となりました。時を経て、二人の娘のうち長女は尾松幼稚園・尾松小学校で学びました。しかし、現在の宝来小学校が移転新築された平成4年4月、私の地区は再び宝来小学校学区となり、次女は尾松幼稚園を卒園しましたが、宝来小学校に入学することになりました。

結果として、長女と次女は違う小学校の卒業生となりましたが、尾松小学校も一緒に再編となる宝来小学校も娘の母校であり、その愛情に満ちたきめ細かい指導に感謝しております。

再編するにあたり、これまで地域と共に歩み続けてきた学校や慣れ親しんできた校名がなくなることには一抹の寂しさや愛惜の念を禁じえません。しかしながら、少子化による児童生徒数の著しい減少や急激に変化する時代に生きる子どもたちの将来を考えると、学校再編は避けて通ることはできません。

子どもたちも地区の皆さんもこれまで脈々と受け継がれてきた尾松小学校の輝かしい歴史や伝統を受け継ぎ、新しい出会いを喜び、共に学び、競い、励ましあいながら、新たな光を発揮し、「地域とともに歩む 新しい学校」の創造に向けて取り組んでいってくださることを信じてやみません。

「こどもは地域の宝である」「学校は地域に浮かぶ船である」と言われています。その実現のためには、地域・家庭・学校・教育委員会はじめ関係機関との連携が大切であります。再編後は現在の尾松小学校校舎を活用することになりますので、新たに入ってくる宝来小学校の子どもたち・保護者・地域の皆さんとの交流を深め、「再編してよかった」と語り継がれる新しい学校をつくりあげていただきたいと願っております。

結びに、閉校にあたり、これまで永きに渡り尾松小学校を見守り、支えてこられました地域の皆さまに心より敬意と感謝を申し上げまして、閉校記念誌に寄せる言葉といたします。



正門と校舎





## 不易と流行 ～新しい学校の創造に向けて～

栗原市立尾松小学校長 野澤 克己

本校は、明治6年に「稲屋敷下等小学校」として尾松の法蔵寺に設置されたのが始まりだそうです。そして、学校教育の普及や社会情勢の変遷を背景に、これまで幾多の学校改変や再編・統合を経て現在の尾松小学校に至っています。記憶に新しいところでは、尾松地区の学校統合により桜田、高松、片子沢、そして栗原の分校が廃止統合された際に学区の見直しも行われ、通学区域が変更されました。また、宝来小学校が現在の場所に移転した際には、通学区域の再編により、西田及び町田地区の21名の児童が尾松小学校から宝来小学校へ転校しました。

今回の再編は、「二つの学校を統合して新しい学校をつくる」という点で、これまでの再編とは大きく趣旨が違います。そのために両校が立地している地域の関係者を交えた準備委員会での協議を通して慎重に再編作業を進めてきました。同じ地域や環境にある学校なので共通することは多いのですが、伝統や校風、そして学校に寄せる思いなどにはそれぞれ微妙な違いがあります。その差異を活かしつつ新しい学校をどのように創り上げていくかが大きな課題でした。

私は、前任の菅原校長先生の後を受け、再編事業による具体的な新しい学校づくりに向けて「不易と流行」という視点で対応してきました。「変えていけないもの」(引き継いでいくこと)、「変えてよいもの」(改めること)は何かを考えながら協議・再編を進めました。その結果が、期待と不安の中で、この4月から新しい学校運営の場で試されることとなります。

結びに、これらの取組が「栗駒南小学校で学んでよかった」「学ばせてよかった」と子どもたちが胸を張って巣立っていける学校づくりにつながっていくよう願ってやみません。

## 尾松小学校閉校によせて

栗原市立尾松小学校PTA会長 鈴木 亘

我が尾松小学校は、市の学校再編計画により宝来小学校と統合し新たな学校として生まれ変わるため、平成24年3月をもって尾松という名称での歴史に終止符を打つことになりました。学び舎は、これまでどおりとは言うものの、万感の想いがあります。

私も本校の卒業生です。本校生として6年間、PTAの一員として5年の時間をこの学校で過ごしてきました。他に、幼稚園児の頃は給食・グラウンド・プール等を共有し、社会人になってからも地区民運動会等でお世話になってきました。

今まであった学校が閉じてしまう。在校生・卒業生・保護者・教職員だけでなく、尾松地区に関わる誰もが一抹の寂しさを覚え、その時々の方が懐かしく思い出されている事と思います。

現校舎は、私が4年生の頃に新築されました。当時、新しい校舎に入れたことに感激しました。引っ越し作業や、グラウンドの拡張整備作業の一部は、授業時間を割き一輪車とスコップを使って、児童と教職員が自分たちで行ったのを覚えています。尾松小学校史の中でも大きな節目となる出来事を経験することができました。

私は縁あって今年度のPTA会長の責務を任されました。役割として、学校再編準備委員会での新しい学校づくりと、尾松小を閉じることを進めてきました。運命なのか、まともや尾松小の節目に立ち会っています。学校再編に伴って、多くの方から意見を頂戴し協力を頂きました。この場を借りまして感謝申し上げます。私としては思いやりの心と対象校のバランスを考えつつ、頂いた意見を重視しながら協議してきたつもりです。しかし、なかなか関係者の理解を得られず、力不足だったと申し訳なく思う部分もあり、正直言って、決めたことが正しかったのかどうか、不安な気持ちです。

とは言え、尾松小は閉校し新しい学校が始まります。ぜひ、尾松小の歴史と伝統を胸に、皆が工夫して新しい学校を築き、そこで子どもたちが限りなく成長することを願います。





年号	歴代校長名	代	尾松小学校の主な沿革	主な社会の様子等
明治 4			明治維新の頃、稲屋敷清水田に宮崎永一郎、宝領に煤孫喜佐己、牡丹に平田典治、坂口に太宰保平等の師弟がいて寺子屋式教育を施していた。	廢藩置県
5				学制令発布
6	宮崎 永一郎	初	稲屋敷小学校 法蔵寺を仮校舎に稲屋敷小学校下等略科を開設した。 字百目木に支校を設置した。	小学校令公布 地租改正行われる。
7	佐藤 介致	2	字上の山に校舎を新設した。	小学校を上等下等の2種類に分け6歳～9歳、10～14歳までと合わせて8ヶ年在学制とする。
8				学齢を満6歳より14歳までとする。
9				宮城県が成立する。 稲屋敷村、八幡村、栗原村と称す。
10				西南の役が起こる。
12				教育令公布
13				公立小学校に唱歌の科目を加える。
14				小学校教員心得を出す。 初等3年中等3年高等2年の制度になる。
15			稲屋敷中等小学校 稲屋敷中等小学校と改称した。	教科書の認可制度実施
18	佐藤 蘭造	3		
19			稲屋敷尋常小学校 校舎（字山の上）を改築し、稲屋敷尋常小学校と改称した。支校を廃止した。	小学校令を出し、尋常4年高等4年の制度に改め、尋常科4年を義務教育とする。
20			職員は洋服着用、児童には黒色地の筒袖を奨励した。	
21				市制、町村制を公布
22			尾松尋常小学校 尾松尋常小学校と改称した。 八幡、栗原に分教場を設けた。	大日本帝国憲法公布 3村を合併して尾松村と称した。
23	小野寺 正吉	4		教育勅語発布 第1回帝国議会招集
25	戸板 二郎	5		国歌に「君が代」制定
26			稲屋敷尋常小学校 再び稲屋敷尋常小学校と改称した。 八幡、栗原分教場が独立校となる。	
27	工藤 藤太郎	6		日清戦争始まる。
30				男女別学に関して訓令
31	阿部 辰三郎	7	稲屋敷尋常高等小学校	公立学校に学校医を置く。
32			高等科を併設する。	小学校令改正、尋常小学校を4年制に統一
33	佐藤 正吉	8		鉄道唱歌が大流行する。





年号	歴代校長名	代	尾松小学校の主な沿革	主な社会の様子等		
明治				荒城の月の歌が流行する。		
	35		東北地方凶作に見舞われ、欠席児童、欠食児童多し。	日英同盟調印		
	36			国定教科書制度成立（施行は翌年の4月）		
	37	菅原 臣六	9		日露戦争起こる。	
	40	庄司 宅三郎 佐藤 清十郎	10 11	佐藤校長、シンガポール派遣教師となる。	小学校令を改正し、義務教育年限を6年に延長する。 高等科を2年あるいは3年制とす	
	43				高等小学校の実業教科重視と訓令	
	44			尾松村農業補習学校を併設した。（修了年限2ヶ月）		
	45				日本、オリンピック大会に初参加	
	大正	2	星 年松	12		
		3				第一次世界大戦勃発
4		大浦 萬治	13	高等科を廃止した。		
7					原敬の政党内閣が成立する。 尋常小学校国語読本（ハナ、ハト）発刊	
9		石川 一郎	14		国際連盟の第1回総会が開かれる。	
11				高等科を併設する。（5月） 開校50周年を祝う。 尾松村農業-補習学校を廃止する。		
12		佐々城 金	15	大積雪のため2階建校舎倒壊（死傷者なし）、教室を分散して授業を実施する。	関東大震災起こる。	
13				尾松尋常高等小学校  尾松尋常高等小学校と改称する。（9月） 稲屋敷（字稲屋敷上山岸5の2）、八幡、栗原の3分教場を設置する。八幡分校 1~3年 栗原分校 1~4年 稲屋敷字下後原前23番地に校地を設定し、校舎の改築が始まる。		
14					メートル法使用開始 ラジオ放送開始	
15		菅原 謹吾	16	新校舎竣工（8月） 校旗を制定する。（10月） スタンドピアノ購入。		
昭和	3				第1回普通選挙が行われる。	
	4				世界恐慌	
	6				満州事変起こる。	
	7			奉安殿建築竣工（11月3日）		
	8				色刷りの国語読本（サイタ・サイタ）の使用開始	
	9	千田 大治	17			
10			校地932坪に拡張する。	青年学校令公布		





年号	歴代校長名	代	尾松小学校の主な沿革	主な社会の様子等
昭和	11 小野寺 芳雄	18	新校舎増築並びに講堂建築の起工（2月16日） 新校舎並びに講堂の竣工（2月28日） 総工費 33,113円	
	12 星野 達郎	19		日華事変始まる。
	14			第二次世界大戦始まる。 青年学校を義務制とする。
	15 菅原 哲	20	奉安殿を講堂の南に移転する。 尾松国民学校 国民学校令施行により尾松国民学校と改称した。	全国の小学校を国民学校と改称 太平洋戦争勃発
	19			学童疎開始まる。 学徒勤労令公布
	20 千葉 順美	21	軍国主義 国家主義的掲揚物撤去 武道具一切焼却 教科書訂正削除 修身・地理・国史3教科停止 ご真影ご奉還（12月28日）	終戦
	21 秋山 英夫	22	奉安殿撤去（2月5日）	6・3・3・4制発表
	22 菊地 勝見	23	尾松村立尾松小学校 小学校令施行により、6ヶ年課程の尾松村立尾松小学校となる。 尾松小学校父母教師会が結成される。	日本国憲法施行 教育基本法、学校教育法の公布（6・3・3・4制を規定） 新学制による小学校、中学校発足
	24 千葉 清人	24		湯川博士ノーベル物理学賞を受賞
	26		高松分校新築起工（10月20日）	児童憲章制定
	27		高松分校竣工移転（1月8日）	
	29 太宰 陸郎	25	栗原分校増築竣工（8月25日） 八幡分校増築竣工（12月20日）	
	30		栗駒町立尾松小学校 町村合併により栗駒町立尾松小学校と改称する。 稲屋敷分校を高松分校と、八幡分校を桜田分校と改称する。算数科研究校として県教委より指定される。	町村合併 岩ヶ崎・尾松・鳥矢崎・文字・栗駒・姫松・1町5ヶ村が合併し、栗駒町と称した。
	31		算数科研究に対し、栗原郡教育長連絡協議会より表彰を受ける。（3月31日）	日本、国際連合に加盟する。 新教育委員会法を公布
	32		算数科研究公開（11月1日） 栗原分校5学級編成となる。（1～5年）	初の人工衛星の打ち上げに成功（スプートニク1号）
	33		算数科研究に対し、読売新聞社より読売教育賞を受ける。（7月22日）	道徳教育実施の通達
	34		図書館運営に対し、県教育長より表彰を受ける。 算数科研究に対し、学習研究社より表彰を受ける。 優良子ども貯蓄組合として、県農協連合会並びに農林中央金庫より表彰を受ける。（12月）	メートル法施行
	35		若柳警察署、若柳地区交通安全協会より表彰を受ける（3月9日） 鼓笛隊編成する。（3月） 優良子ども貯蓄組合として、宮城県知事賞を受ける。（12月） 二宮金次郎像の建立なる。（寄贈者・伊藤悦男氏）	小学校新入学児童、戦後最低を記録する。 チリ地震津波
	36		優良子ども銀行として、大蔵大臣及び日銀総裁より表彰を受ける。（10月17日）	全国一斉学力テスト実施 小学校学習指導要領実施
	38 佐藤 壽	26	グランドピアノ購入する。（1月） 学制90年記念に際し、教育功労団体として、宮城県教育委員会より表彰を受ける。（1月11日）	小学校新入生に教科書無償配付





年号	歴代校長名	代	尾松小学校の主な沿革	主な社会の様子等
昭和39			環境緑化教育研究校として、県教委より2ヶ年の指定を受ける。(4月1日) 本校プール竣工(7月)	道徳の指導資料を発表 東海道新幹線開業 東京オリンピック開催
40			栗原分校プール竣工(7月) 環境緑化教育の公開研究発表をする。(11月5日)	朝永振一郎博士、ノーベル物理学賞受賞
41			学校統合により、高松・桜田・片子沢分校を本校に統合する。(4月1日) 理科教育研究指定校(栗教協)として公開研究発表をする。(10月1日)	敬老の日、体育の日が祝日となる。
42	和久 日出丸	27	宮城県PTA連合会長より表彰される。(10月21日)	
43			体育研究指定校として、栗原郡教育研究協議会より2ヶ年の指定を受ける。	川端康成、ノーベル文学賞受賞
44			栗原分校、本校に統合される。 体育研究指定校として公開授業をする。(10月9日)	アポロ11号人類初の月面着陸に成功
45	菅原 閣郎	28		
46			特殊学級が新設される。 健康優良児(大関喜久美さん)全国特選となる。(10月)	小学校学習指導要領実施
47	齋藤 松男	29	青少年赤十字加盟する。(6月) NHK全国学校音楽コンクール県大会優良賞、TBC音楽コンクール県大会優良賞(合唱)(9・10月) 花壇コンクール、県優良賞を受賞する。(県緑の会)(11月) 学制発布百周年を記念して、講堂に引幕を新設(36万円) 尾松小学校PTA、東北7県PTA連絡協議会長賞受賞	
48			NHK全国学校音楽コンクール県大会優秀賞(8月31日) TBC音楽コンクール県大会優秀賞受賞、東北大会出場(10月7日) 花壇コンクール、県優秀賞受賞(県緑の会)(11月22日) 学校安全優良学校、県優秀賞受賞(読売新聞社・県安全会・河北新報社) 校舎前に尾松児童遊園地を設置する。 開校百周年記念事業並びに式典を挙げる。(2月17日)	江崎玲於奈博士、ノーベル物理学賞受賞
49			NHK全国学校音楽コンクール県大会優良賞(9月) 給食調理室新設(施設・設備)(2月) 花壇コンクール特選	佐藤栄作、ノーベル平和賞受賞
50	長谷 清雄	30	NHK全国学校音楽コンクール県大会優良賞(9月) 宮城県緑化コンクール努力賞(9月) 校庭芝生造成事業	
51			宮城県緑化コンクール努力賞(11月) 桜の苗木50本、祖父母学級より寄付される。	
52			優良子ども銀行として、大蔵大臣・日銀総裁より表彰される。 学校緑化コンクール入選(宮城県知事、宮城県教育委員会賞) 前校舎半分の屋根葺き替え工事・職員便所新設 体力づくり推進校として文部省より指定	
53	菅原 正平	31	文部省指定「体力づくり」研究中間公開(10月17日)	宮城県沖地震(6月12日)





年号	歴代校長名	代	尾松小学校の主な沿革	主な社会の様子等	
昭和			講堂床張り（180万円）（5月9日） 文部省指定「体力づくり」研究公開（10月9日） 学校緑化コンクール入選（11月15日） プール徒渉新設、相撲場新設（7・9月）		
			学校緑化コンクール入選（11月12日） 水飲み場増設並びに床張替工事	「やませ」による冷害・凶作 小学校学習指導要領実施	
	56	近江 鐵太郎	32	昇降口、玄関他サッシ戸新規入替 手をつなぐ親の会結成	福井謙一博士、ノーベル化学 賞受賞
	57			田（六畝）を借りて勤労生産活動を実施する。	
	58	佐藤 司	33	プール全面塗装 児童会歌・児童会旗制定	
	59			校舎西側半分と講堂を解体し、新校舎起工 旧校舎とのお別れ式及び感謝の会 学校花壇コンクール優良賞受賞（県緑の会）	
60	菅原 元次郎	34	新校舎完成、総事業費545,059千円 （5月30日） 新校舎落成、入校式（6月21日）及び新校舎への 移転（7月5日） 優良子ども銀行として受賞（県貯蓄推進委員会） 新体育館完成、総事業費184,935千円 （12月）		
61			新校舎落成記念式典挙行（1月27日） 尾松農業協同組合より緞帳一式並びに尾松財産区より 演台一式寄贈 第6回東北建築賞受賞（5月31日） 学校花壇コンクール優良賞受賞（県緑の会 11月）		
62	今野 則男	35	学習指導（国語科）研究校として県教委指定を受ける。 国旗掲揚塔新設（8月）	利根川進博士、ノーベル生理化学、 医学賞受賞	
63			全国公立学校文教施設協会賞受賞（5月25日） 優良子ども銀行として表彰（大蔵大臣・日銀総裁） （10月） 県指定「学習指導（国語科）」公開研究会 （10月28日）		
平成	3	遠藤 富美男	36	学習研究社教育賞受賞（国語科）（10月26日） 屋上配水管及びタイル補修工事（8月31日） 郡音楽祭優秀賞 文部大臣より、学校保健統計調査優秀校表彰 （11月19日） 宮城県歯科医師会より、よい歯の学校表彰 （11月30日） 宝来小学校に転出する児童とのお別れ式 （3月24日）	
	4	千葉 福男	37	宮城県歯科医師会より、よい歯の学校表彰 （11月21日）	学校週5日制スタート（月1回） 小学校学習指導要領実施
	5			「ボランティア活動普及事業協力校」研究成果発表 会（2月2日） 校庭整地排水溝工事（8月） 宮城県歯科医師会より、よい歯の学校表彰（11月）	
	6			相撲場柱改修工事 宮城県歯科医師会より、よい歯の学校表彰 子ども貯蓄組合に対し、大蔵大臣・日銀総裁より表 彰される。 宮城県統計グラフコンクール団体賞受賞（宮城県統 計教育研究協議会）	大江健三郎氏、ノーベル文学賞 受賞





年号	歴代校長名	代	尾松小学校の主な沿革	主な社会の様子等
平成 7	菅原 勇喜	38	宮城県歯科医師会より、よい歯の学校表彰 (9月) 自転車置き場増設 (12月) 学習用コンピュータ設置	
			宮城県歯科医師会より、よい歯の学校表彰 (11月) 給食室に大型冷蔵庫設置及び給食室天井改修 (O157対策)	
			宮城県歯科医師会より、よい歯の学校表彰 (9月) 言語通級教室の設置認可	
10	佐々木 英二	39	言語通級指導教室開設 宮城県歯科医師会より、よい歯の学校表彰 (9月) 新プール完成	
11			指導法改善に伴うTT教員配置 宮城県歯科医師会より、よい歯の学校表彰 (9月) 「心をはぐくむ教育活動推進校」実践発表会 (11月22日)	
12	菅原 幹男	40	知的障害学級設置 宮城県歯科医師会より、よい歯の学校表彰 (9月) 長年の口腔指導に対する学校表彰 (宮城県歯科医師会)	白川英樹博士、ノーベル化学賞受賞
13			宮城県歯科医師会より、よい歯の学校表彰 (9月) 宮城県健康教育推進学校表彰 食生活に関する教育実践事業実践発表会(2月)	第56回国民体育大会開催 野依良治博士、ノーベル化学賞受賞
14	三塚 直史	41		完全週5日制実施 小柴昌俊博士、ノーベル物理学賞 田中耕一氏、ノーベル化学賞受賞 小学校学習指導要領実施
15			町預かり保育が本校2教室を使って開設(4月)	ふれあいバス運行開始
16	佐藤 吉彦	42	近江鐵太郎氏より、絵画4点寄贈(7月) 学校評議員制導入 (10月)	
17			栗原市立尾松小学校 町村合併により、栗原市立尾松小学校と改称する。 (4月) 情緒障害学級設置 (4月) みやぎらしい協働教育推進事業指定校 小学校英語活動実践モデル校	栗原市誕生
18			「YOSAKOI～夢のくりはら～」を初披露	
19	藤田 津悟	43	知的障害学級設置	全国学習状況調査開始
20			県教委指定学力向上サポートプログラム事業 肢体不自由学級設置 岩手・宮城内陸地震により、体育館窓ガラス破損等 被害甚大 (6月14日)	南部陽一郎博士、小林誠博士、 益川敏英博士、ノーベル物理学賞受賞 下村脩博士、ノーベル化学賞受賞
21	菅原 敏郎	44	児童用パソコン (46台)、教師用パソコン (17台) 入替 地デジ対応薄型液晶テレビ設置 (14台)	
22			病・虚弱学級設置 学校再編準備委員会設置 (9月) 東日本大震災により、校舎及び体育館被害甚大 (3月11日) 臨時休業 (3月14日～23日)	根岸英一博士、鈴木章博士、 ノーベル化学賞受賞
23	野澤 克己	45	東日本大震災余震発生 (4月7日) により、臨時休業 措置を執る。(4月8日～13日) 体育館使用不可 震災復旧工事 (9月～11月) 閉校記念式典挙行 (2月25日)	小学校学習指導要領実施





年号	八幡尋常小学校のあゆみ	栗原尋常小学校のあゆみ	片子沢尋常小学校のあゆみ
明治	維新のころは桜谷佐竹三卓、八幡に氏家多仲の師弟がいて、寺子屋式教育を施していた。	維新のころ、根岸に高橋東英、沖に佐藤三哲、菱沼に久世景隆等の師弟がいて、寺子屋式教育を施していた。	
6	桜田小学校 初代校長 佐藤 介致 松岩寺に仮校舎を置き、桜田小学校を開設した。	栗原小学校 初代校長 高橋 東英 上品寺を仮校舎に、栗原小学校を開設した。	片子沢小学校 初代校長 佐藤 徳太郎 片子沢泉昌寺を仮校舎に、片子沢小学校を開設した。
7	2代校長 伊藤 徳太郎	2代校長 佐藤 三哲	
8	3代校長 伊藤 万寿	3代校長 松崎 恒助	字青野沢に新校舎起工（縦八間半、横四間半、平屋・茅葺）落成
9	4代校長 氏家 周益		
13		字上の山に校舎を新築移転した。	2代校長 岸 卯一郎
15	桜田初等小学校 桜田初等小学校と改称した。	栗原初等小学校 4代校長 堀越 信七 栗原初等小学校と改称した。 （沖・根岸合併）	片子沢初等小学校 3代校長 佐藤 徳太郎 片子沢初等小学校と改称した。
17			4代校長 小笹 市郎治
18	5代校長 佐藤 蘭造		
19	八幡尋常小学校 小学校令により八幡尋常小学校と改称した。	栗原尋常小学校 小学校令により栗原尋常小学校と改称した。	北沢尋常小学校片子沢分教場 小学校令により北沢尋常小学校の分教場となった。
22	尾松尋常小学校八幡分教場 町村制実施により、尾松尋常小学校の分教場となる。 桜田字殿田替に校舎を新築した。	尾松尋常小学校栗原分教場 町村制実施により、尾松尋常小学校の分教場となる。	姫松尋常小学校片子沢分教場 町村制実施により、北沢小学校、姫松小学校と改称し、その分教場となる。校舎改築竣工（現在地）
23	6代校長 小野寺 正吉	5代校長 今野 清	5代校長 熊谷 松治
25			片子沢尋常小学校 独立校となり、片子沢尋常小学校と改称する。
26	八幡尋常小学校 独立校となり、八幡尋常小学校と改称する。 7代校長 氏家 周益	栗原尋常小学校 独立校となり、栗原尋常小学校と改称する。	
27		6代校長 工藤 藤太郎	
28		7代校長 渋谷 新五郎	
31	宿直室を増築		
32	8代校長 佐藤 哲三		
33		栗原西の沢の現在地に校舎を改築する。	
34	屋内体操場建築する。	8代校長 大関 泰助	
37	9代校長 渋谷 新五郎		
38	10代校長 及川 正助 11代校長 熊谷 泰治		





年号	八幡尋常小学校のあゆみ	栗原尋常小学校のあゆみ	片子沢尋常小学校のあゆみ	
明治	40 1 2代校長 佐藤 哲三			
	41 1 3代校長 大関 泰助	9代校長 大友 総兵衛	姫松尋常高等小学校片子沢分教場 義務教育年限延長に伴い、姫松尋常高等小学校の分教場となる。	
	44	1 0代校長 佐藤 佐吉		
大正	3 1 4代校長 菅原 喜一郎			
	4 1 5代校長 佐々木 千代之助			
	8	1 1代校長 石川 一郎 1 2代校長 菅原 謹吾		
	13	尾松尋常高等小学校八幡分教場 稲屋敷、八幡、栗原3校を統一して、尾松尋常高等小学校八幡分教場と改称する。	尾松尋常高等小学校栗原分教場 稲屋敷、八幡、栗原3校を統一して、尾松尋常高等小学校栗原分教場と改称する。	
	昭和	16 尾松国民学校八幡分校	尾松国民学校栗原分校	姫松国民学校片子沢分校
22	尾松村立尾松小学校八幡分校	尾松村立尾松小学校栗原分校	姫松村立姫松小学校片子沢分校	
30	栗駒町立尾松小学校桜田分校	栗駒町立尾松小学校栗原分校	栗駒町立宝来小学校片子沢分校	
40		栗原分校プール竣工		
41	学校統合により、本校に統合される。		学校統合により、尾松小学校に統合される。	
44		本校に統合される		



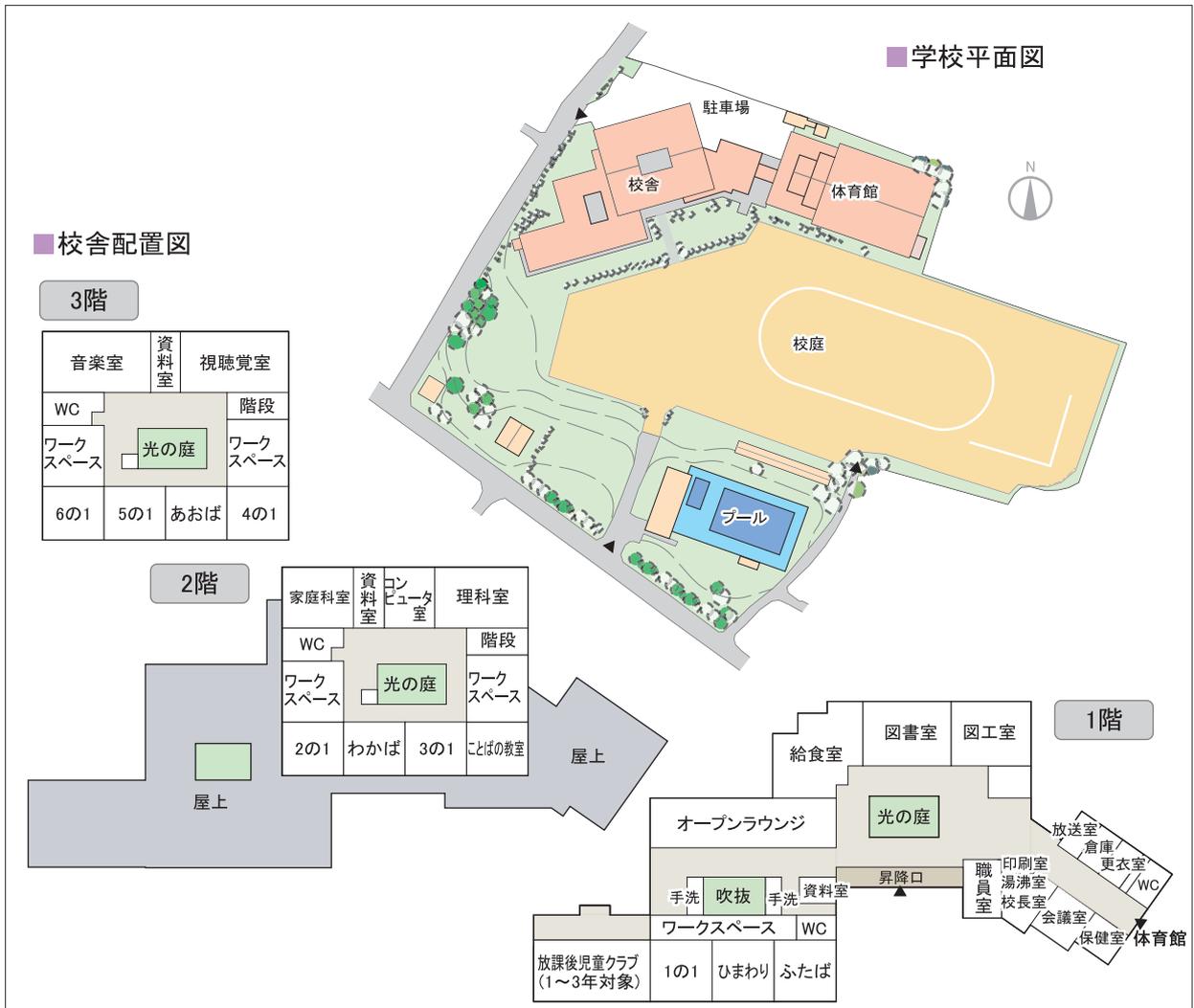


## 学区について

栗駒山を源流とする二つの迫川に挟まれた水田地帯で、米作中心の兼業農家が大多数を占めている地域である。

田園地帯の広がる豊かな自然環境の中、「桜田ばやし」や「栗原神楽」といった伝統芸能の継承が積極的に行われ、地域の人々や高齢者と児童の交流が活発に行われている。

地域住民の学校教育に対する関心は高く協力的であるが、共働きの家庭の増加と共に、児童のしつけ等の基本的な生活習慣の形成に課題が見られるようになってきている。また、学区が広く、自家用車による送迎やバス通学の児童が7割を超えている。交通量の増加と共に事故防止対策が地域及び学校の課題の1つである。





尾松小学校 校歌

作詞 白鳥省吾

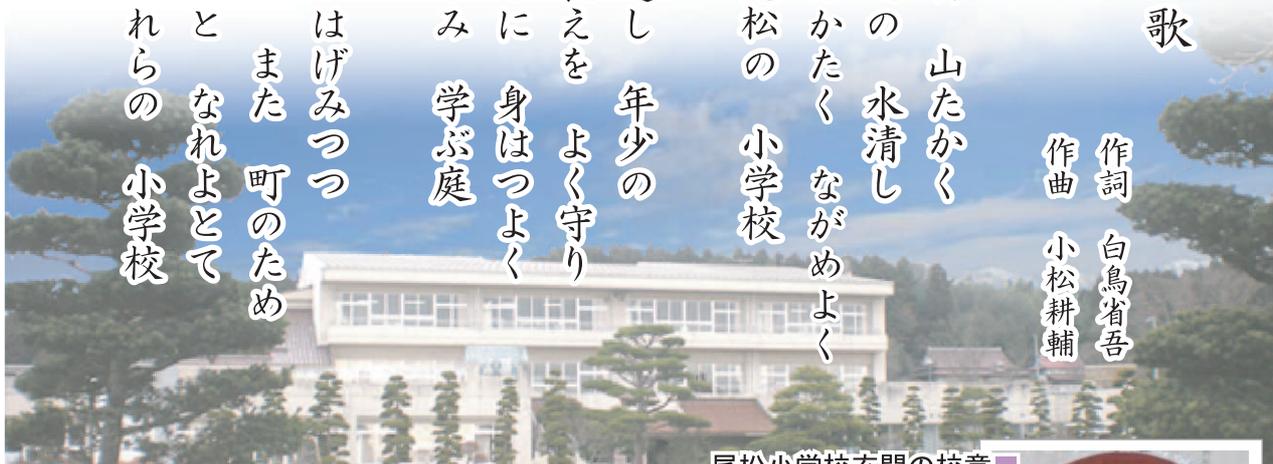
作曲 小松耕輔

あ お ぐ く り - こ ま や ま た か く  
 な が る る は さ - ま の み ず - き よ し  
 い し ず え か た - く な が め よ く  
 た て る お ま - つ の し ょ う が っ こ う

校歌

作詞 白鳥省吾  
作曲 小松耕輔

- 一、 仰ぐ栗駒 山たかく  
流るる迫の 水清し  
いしずえかたく ながめよく  
たてる尾松の 小学校
- 二、 前途は遠し 年少の  
われら教えを よく守り  
心ますぐに 身はつよく  
友と親しみ 学ぶ庭
- 三、 朝夕に はげみつつ  
国のため また 町のため  
皆よき人と なれよとて  
立てるわれらの 小学校



尾松小学校玄関の校章



尾松小学校校旗



校章



校木 クロマツ (昭和40年4月1日制定)





歴代校長

初代	明治6年	宮崎永一郎	校長
第2代	明治7～17年	佐藤 介致	校長
第3代	明治18～22年	佐藤 蘭造	校長
第4代	明治23～24年	小野寺正吉	校長
第5代	明治25～26年	戸板 二郎	校長
第6代	明治27～30年	工藤藤太郎	校長
第7代	明治31～32年	阿部辰三郎	校長
第8代	明治33～36年	佐藤 正吉	校長
第9代	明治37～39年	菅原 臣六	校長
第10代	明治40年	庄司宅三郎	校長
第11代	明治40～大正元年	佐藤清十郎	校長
第12代	大正2～3年	星 年松	校長
第13代	大正4～8年	大浦 萬治	校長
第14代	大正9～11年	石川 一郎	校長
第15代	大正12～14年	佐々城 金	校長
第16代	大正15～昭和8年	菅原 謹吾	校長
第17代	昭和9年～10年	千田 大治	校長
第18代	昭和11年	小野寺芳雄	校長
第19代	昭和12年～14年	星野 達郎	校長
第20代	昭和15年～19年	菅原 哲	校長
第21代	昭和20年	千葉 順美	校長
第22代	昭和21年	秋山 英夫	校長
第23代	昭和22～23年	菊池 勝見	校長
第24代	昭和24～28年	千葉 清人	校長
第25代	昭和29～37年	太宰 陸郎	校長
第26代	昭和38～41年	佐藤 壽	校長
第27代	昭和42～44年	和久日出丸	校長
第28代	昭和45～46年	菅原 閣郎	校長
第29代	昭和47～49年	齊藤 松男	校長
第30代	昭和50～52年	長谷 清雄	校長
第31代	昭和53～55年	菅原 正平	校長
第32代	昭和56～57年	近江鐵太郎	校長
第33代	昭和58～59年	佐藤 司	校長
第34代	昭和60～61年	菅原元次郎	校長
第35代	昭和62～63年	今野 則男	校長
第36代	平成元～3年	遠藤富美男	校長
第37代	平成4～6年	千葉 福男	校長
第38代	平成7～9年	菅原 勇喜	校長
第39代	平成10～11年	佐々木英二	校長
第40代	平成12～13年	菅原 幹男	校長

第41代	平成14～15年	三塚 直史	校長
第42代	平成16～18年	佐藤 吉彦	校長
第43代	平成19～20年	藤田 津悟	校長
第44代	平成21～22年	菅原 敏郎	校長
第45代	平成23年	野澤 克己	校長

歴代PTA会長

初代	昭和22～23年	石川 公策	会長
第2代	昭和24～25年	狩野常三郎	会長
第3代	昭和26年	佐竹 晋次	会長
第4代	昭和27～30年	浅野 隼雄	会長
第5代	昭和31～32年	渡辺 達郎	会長
第6代	昭和33～34年	佐藤 辰藏	会長
第7代	昭和35～36年	浅野 隼人	会長
第8代	昭和37～39年	石川 東一	会長
第9代	昭和40～41年	長井 健一	会長
第10代	昭和42年	今野 一郎	会長
第11代	昭和43年	山本 幸一	会長
第12代	昭和44～48年	五十嵐重太郎	会長
第13代	昭和49年	高橋 卓司	会長
第14代	昭和50～51年	佐々木孝夫	会長
第15代	昭和52～53年	渡辺 義郎	会長
第16代	昭和54～56年	小野寺 稔	会長
第17代	昭和57～58年	大関 健一	会長
第18代	昭和59～60年	栗原 祐	会祐
第19代	昭和61年	栗原 忠信	会信
第20代	昭和62～平成3年	後藤 国夫	会長
第21代	平成4～5年	今野 金充	会長
第22代	平成6年	佐々木吉司	会長
第23代	平成7～8年	大関 陽悦	会長
第24代	平成9～10年	加藤 洋	会長
第25代	平成11～12年	浅野 義悦	会長
第26代	平成13～14年	鈴木 文男	会長
第27代	平成15～17年	岩渕 功	会長
第28代	平成18～19年	安藤 実	会長
第29代	平成20～21年	鈴木 敬一	会長
第30代	平成22年	後藤 祐一	会長
第31代	平成23年	鈴木 亘	会長





桜田分校



栗原分校



高松(稲屋敷)分校



昭和59年までの本校の校舎



昭和59年の航空写真



昭和61年撮影 「正門と校舎」



昭和61年 現在の校舎での航空写真



平成23年11月 「尾松小学校ありがとう」





昭和40年 運動会での騎馬戦



昭和45年5月 運動会 入場行進



昭和55年9月 徒競走



昭和59年 応援合戦



昭和61年9月 新しい校庭での運動会



平成5年 入場行進



平成16年 尾松小恒例のむかで競走



平成23年5月 優勝は緑組！





昭和40年 松島，塩釜，護国神社へ



昭和45年9月 仙台，蔵王，山寺へ



昭和52年5月 会津若松方面へ



昭和59年5月 会津若松方面へ



平成5年6月 会津若松方面へ



平成16年10月 会津若松方面へ



平成23年6月 角館，田沢湖，盛岡方面へ





昭和52年11月 学芸会



昭和56年11月 学芸会



昭和62年2月 学芸会



平成5年 学芸会



昭和40年 授業風景



昭和40年 集合写真 児童の服装に注目です！



昭和45年 教室の様子



昭和45年10月 郡大会の入場行進





昭和52年 秋の遠足で芋煮会！



昭和55年 一番の楽しみは、やっぱり給食！



昭和56年 秋の遠足で芋煮会です



昭和59年 来年6月の完成が待ち遠しい！



昭和61年 新しい教室での授業風景



平成5年 やっぱり秋は遠足で芋煮会でした



平成23年6月 全校写真





## 尾松小学校閉校にあたって 「いいときに いいところで いいひとたちに」

第42代 校長 佐藤 吉彦

あの学校この学校と35年間出会いと別れを繰り返し、辿り着いた最終寄港（校）地が尾松小学校。その学校が無くなる（長い間多くの人に親しまれてきた「尾松」の文字が消えて無くなる）。市広報の再編計画で薄々は知っていましたが、「閉校」の言葉を実際に耳にしたとき「やはり・・・」、いくら時代の趨勢とは言え、切なさとも一抹の寂しさを感じます。

私は、新市誕生の前後3年間お世話になりました。教員生活最後の学校になるとの思いもあり、いい形で終えたいと自分なりに精一杯努力しました。・・・いよいよ尾松小学校最後の日、離任式後に見送りを受けました。去り難く別れの辛さを胸いっぱい感じながらも、これまでを振り返り、心の隅には達成感と充実感で晴れ晴れしたものがありました。「我が（教員）人生に悔いは無し」を感じた瞬間でもありました。それもこれも、子どもたちに、保護者・地域に、そして職員に恵まれたからだと思っています。子どもたちは呼び掛けに素早く、積極的に反応してくれました。保護者・地域の方々は尾松小学校の教育をよく理解し、惜しみない協力を下さいました。職員は思いつきにも似た校長の考えに、上手につき合い、よく動き・働き、よりよい学校づくりに一丸となって取り組んでくれました。

ある日、支払いを終え店を出ようとした時、5、6年生位の女の子に「校長先生ですよね。」と声を掛けられました。名前を聞いて記憶を辿ったら最後の年に入学したMさんでした。また、あるところで、聞き覚えのある名前が受付の方から聞こえてきました。「間違えるほど立派になったね。どこの高校に？」、二、三言葉を交わしたのは最後の年の卒業生Yさん、それぞれの成長ぶりに感心するとともに、あれからもう5年も・・・改めて時の経つ早さに気付かされもしました。時折、新聞や広報に「尾松」の文字や、各分野で活躍している中学、高校生になった子どもたちの名前を見付けては、「頑張っているな」と当時を思い出しては懐かしんでいます。

前に子どもたち、保護者・地域、職員に恵まれたと述べましたが、振り返ってみると、時代にも恵まれた3年間でした。新市誕生に伴って意識の変化、特に「地域」の捉え方がよい意味で学区を超えて広がったことです。農業体験や福祉体験、交流活動、新しい伝統づくり等に多くの方にご協力を頂き、様々な活動に挑戦することができました。校長として思い描く学校経営や、生きる力を育む教育ができたのも、保護者・地域の協力と、後ろ盾として宮城県教育委員会の「協働教育推進事業」の指定があったからです。「目標を持った時、組織は動く」と言いますが、指定を機に正しく組織は動き、保護者・地域を巻き込んで、他に少しは誇れる教育ができたのではなかったかと思っています。「あいさつ標語・いじめ撲滅標語」、「あいさつ運動」、「校長室だより」、「行列のできる校長室？」（美しい日本語検定）・・・、あれもこれもみんなよい思い出です。

新しい学校の発展と、子どもたちの活動を期待しています。





## 尾松小学校閉校にあたって

第43代 校長 藤田 津悟

毎日の日課にしております自宅近辺の散歩コースに町内会で設置している掲示板があります。その掲示板の中にこんな標語がありました。

「あいさつは 笑顔を咲かせる 花の種」

きっと近隣の小学生の作品だと思います。良くできています。

私は、散歩ですれ違う見知らぬ人ともあいさつを交わしますが、それを繰り返すうちにいつしか顔見知りになり笑顔で会話を交わすようになりました。この標語の通りです。

冒頭になぜこんな事を書いたかと言いますと、私が勤務した時の尾松小学校の子どもたちのあいさつがとても良くできていたからです。道路であっても校舎内であってもすれ違う時はどの子どもも元気な声で「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」と声をかけてくれます。こちらも負けずに大きな声で返事を返します。そんな時は、ほっと心が温まる気がしたものです。

尾松小学校の子どもたちがこのような温かいあいさつができるようになったのは、家庭、地域、学校が協力して子どもたちの健全育成に努めたからだと思っています。

そしてもう一つ、子どもたちの中にあいさつが定着したのは、子どもたちが中心になって進めたあいさつ運動があったと思います。6年生の子どもたちが中心になって、毎朝、正面玄関に立ち登校してくる子どもたちとあいさつを交わすのです。単にあいさつを交わすだけではなく、ちょっとした情報交換もされていました。ですから全校児童が互いに親密な関係になり、登校してこない児童がいるとその子のことを気遣ったりする子も見られました。

このあいさつ運動には幼稚園の子どもたちも加わっていました。直接幼稚園に行く子どもは別ですが、バスで登園してくる子どもたちは園長先生と教頭先生に引率されて小学生と一緒に元気に朝のあいさつをしたものです。

校長の私も2年間の在職中毎朝玄関に立ちました。6年生の当番の子どもたちの労をねぎらうと共に、登校してくる子どもたちとのコミュニケーションを取るためでした。

このような朝のあいさつ運動は、私が着任するずっと前から続いていたようで尾松小学校の良き伝統として継続されてきていました。

形はどうあれ、あいさつは人間関係の基礎にあたる部分ですので、子どもたちへの定着のためにもこのような取り組みは今後も継続して行ってもらいたいものです。

これまで特に印象に残っている尾松小学校の子どもたちのあいさつについて述べましたが、尾松小学校にはもっともっと他に誇れるものがあります。尾松小学校が閉校し、栗駒南小学校となっても古き良き伝統は守りながらも新しいすばらしい学校を造って欲しいと願っています。





出会いに恵まれた2年間 ～ありがとう～  
がんばれ がんばれ 尾松っ子

第44代 校長 菅原 敏郎

歴史と伝統のある尾松小学校に2年間勤めることができました。明るく元気で、挑戦意欲に満ちた子どもたちと出会いました。協力を惜しまないPTA・保護者の皆さんや地域の方々からの後押しもありました。よき出会いに恵まれ、とても楽しく思いで多い教員生活の最後を締めくくることができました。心から感謝いたします。

多くの教員がそうであるように、私も、子どもたちが楽しく充実感を味わいながら学べる学校を目指して歩んできました。校長という立場になってからは、学校の役割を大きく二つに捉えて、子どもたちや教職員、行政等とかかわってきました。一つは学力を高めること、もう一つは自立の基礎をしっかりと身に付けさせることです。この二つを子どもたちの姿として具現できるように先生方の知恵を借りながら、取組を工夫してきました。

尾松小では、朝の活動の算数ドリルや読書を授業に連動させたり、ドリルに級を設けて、子どもたちの意欲を引き出ししたりしながら、学力の向上を目指す試みも行いました。継続することで、子どもたちに確かな学力が形成できるはずだという思いでしたが、なかなか成果が出ず苦しい時もありました。今は、改善が加えられ、子どもたちの奮起で、伸びているものと思います。

また、自立の基礎では、あいさつができることや自分の考えをもつこと、そして、その考えを話せることなどにも取り組みました。在任の2年間ともに6年生の『あいさつ隊』のみなさんに朝のあいさつ運動のけん引役になっていただきました。いろいろな場面で、しっかりあいさつできるようになり、感心しました。各学年では、話かたを示して、それに従って考えを話すような取組も行いました。自信をもって論理的に話せる子が増えたように感じます。

あいさつができることやコミュニケーション能力を高めることは、子どもたちが社会の一員として生きていく上で、とても大切な資質・能力です。その力が、子どもたちに身に付いてきたことは大きな喜びでした。これからも高める努力を期待したいと思います。

子どもたちが活躍する社会は、今以上に国際化が進んでいると思われます。そのような社会にあって、日本の文化を発信できる人こそが、信頼される日本人だと私は思っています。そこで、校長室の取組として、お気に入りの詩や作文、百人一首の暗唱にも挑戦させました。全校の子どもたちが、挑戦してくれました。「平家物語」や「雨ニモマケズ」の暗唱に挑む子もいて驚きました。特に、1年生のN君の「秋の田のかりほの庵の苫をあらみわが衣手は露にぬれつつ 天智天皇」をすらすらと言えた後の緊張から解き放たれた表情と目の輝きを忘れることができません。この暗唱という小さな取組の中で、尾松の子どもたちの素晴らしさを強く感じました。

思い出は尽きません。「尾松」という校名はなくなりますが、これまでの営みで蓄えた力と「尾松」の心意気を新たな学校で存分に発揮されることを切に願っています。

がんばれ がんばれ！ 尾松っ子。





## 熱気あふれる学校

千葉 理恵子

「エイエイオー。」という雄叫び。これは、私が担任した子どもたちの歓声や気合いです。今でも頭に残っています。

私は、昭和46年から8年間（教諭）、平成3年から3年間（教頭）勤務しました。その間、開校百周年記念事業を経験しましたし、いろいろな方々に支えられながら多くのことを鍛えられ、教員としての喜びを感じました。

特に、昭和53年に文部省指定「体力づくり」研究中間公開を経験しました。全校児童は、PTA事業で設置されたターザンロープ、タイヤ、土管のトンネル等々の固定施設で遊び、校庭の芝生（昭和50年PTA事業）で思う存分運動しました。

学校全体が熱気にあふれていました。今でもその時の教え子たちに会うと「燃えてたよね。」と言われ、多方面で活躍していることを嬉しく思います。

でも、大変な思いもしました。一つめです。公開の時私は2年生の担任でした。教室の真ん前には低鉄棒が設置され、私が鉄棒運動、しかも逆さ感覚を養う内容の授業をすることになったのです。私も子どもたちも、はたと困ってしまいました。

子どもたちは、鉄棒は苦手でした。私は自分ではやれますが、逆さ感覚を養うこと、ましてや指導案の書き方は分かりませんでした。体育の堪能な先生にポイントをご指導いただいたこと、子どもたちが「エイエイオー。」の感性で知恵を出し合い、盛んに遊んでくれたことで、公開の時は全員“逆上がり”ができるようになりました。中には、前回り、後ろ回り、猿の逆さブランコ等々できるようになった子もいて、みんなの顔は生き生きと輝き、参観者からは驚きとお褒めをいただいたのです。

次は、毎週1回業間時に直線回旋リレーがあったことです。しかも、出席簿の名前順に男女各4名の混合チームで、全クラスが学年差のある距離を一斉に走るのです。かなり走ることに苦手な子でも、1、2位を取りたいのです。この時もやはり「エイエイオー。」の感性で考え、工夫し合っ

て乗り切りました。子どもたちは、つんのめるように走り、ほとんど1位を取り続け、自信をつけました。全校の“やる気”は、次第に音楽、図書館・緑化教育等々にも波及しました。また、地元の元力士の小天龍さんが立ち上げてくださった相撲は、伝統として継続していました。

教頭として赴任した時は、新校舎になって6年目であり、しかも北部体育大会が毎年本校で行われていました。屋上の補修、校庭の整地や拡張、校舎周りの排水溝工事、相撲場の整備等々に携わり、PTAや地域の方々に大変なご支援とご協力をいただきました。

さらに、相撲や陸上の練習、高齢者との交流等の指導面でもご協力をいただき、そのパワーに敬服し、私も練習に立ち合うことで大いに勉強になりました。

宝来小学校に転出する姫松地区の児童とのお別れ式も私にとっては貴重な経験となりました。

現在、私は絵本の読み聞かせで尾松小学校の子どもたちに接し、パワーをもらっています。統合しても、両校の伝統を大切に、ますます輝くことを期待しております。

## 尾松小学校ありがとう

菅原 太

各学年8クラスもある古川の小学校から木造の尾松小学校に赴任したのは昭和58年。教員になって7年目の春でした。初めての受持は6年2組、隣の1組担任はベテランの高橋八重子先生でした。冬、真っ赤に焼けたコークストーブが教室にあっても危ないとは感じないほどの素直で落ち着いた子どもたちのいる学校でした。

赴任して間もなく、子どもたちが野球の試合をしたいと言い始めました。体育の公開研究会が終わったばかりで運動の得意な子どもたちの集まりだったのです。希望を叶えてあげようと佐藤司校長先生にお話しすると了解していただきました。でも、学校の仕事をやりながらのこと、スポーツ少年団の加入はできませんでした。自主的に練習すること、勉強をおろそかにしないことを約束に始めましたが、練習につけるのはいつも勤務時間終了後でした。野球練習の甲斐あって栗駒町の小学校ソフトボール大会では優勝を果たし、大変嬉しかったことを覚えています。

勤務した3年間で現在の校舎が新築されたことも思い出です。彼岸には、子どもたちのおばあちゃんが、草餅やかわりご飯を届けてくれるような温かい地域環境に恵まれたところです。子どもたちから保護者から、そして地域からたくさんの宝をいただいた小学校です。思い出の尾松小学校の名称が変わっても人の良さは変わらないと思います。再編を機に、優れた環境を生かしてさらにすばらしい学校となるよう期待しています。





## 学芸会での親子共演

菅原 ひろみ

尾松小学校での一番の思い出は、平成8年度の学芸会で親子共演したことです。

この年、私は西村恵美子先生と共に5年生の担任でした。学芸会で合唱構成「ぞう列車がやってきた」に挑戦しました。10曲ほどの合唱曲の中で、「平和とぞうと子どもたち」という大人から子どもに向けたメッセージを込めた曲があります。悩んだ末、保護者の皆さんに呼び掛け、舞台上親子共演しようということになりました。早速、学年委員長の伊藤泰尚さんに相談したところ、「喜んで協力します。」と快諾していただきました。

まず、子どもたち全員にダビングしたテープを配布し、家や車の中で、歌を覚えてもらうことをお願いしました。子どもたちの話から、保護者の皆さんの意欲的な練習ぶりが伝わってきました。「先生、私のお母さん学芸会で歌うって張り切っていたよ。」など、大きな反響があり、それまでの不安が吹っ飛んでしまいました。夜間練習は2回行いました。保護者の皆さんとの歌の練習は、和やかで楽しいものでした。歌の得意なお父さん、お母さん方が多く、皆さんをリードしてくださいました。

学芸会当日、50名を超える保護者の皆さん、菅原勇喜校長先生、曾根原朗先生等が舞台の雛壇に立ちました。保護者の皆さんの合唱は、平和を願う気持ちがこもっていて、私は伴奏をしながら目頭が熱くなりました。67名の子どもたちと保護者の皆さん等、合わせて120名の大合唱が、体育館いっぱいに響き渡ったあの時の感動は、生涯忘れません。

## 尾松小学校での7年間

加藤 美樹子

私が生まれた年に完成した、古い校舎が残る母校の小学校。しかし、東日本大震災の津波被害等で近々閉校すると聞きました。ふるさとを離れ長い年月が過ぎ、そこにいる人々も当時とは全く変わってしまっている、やはり母校がなくなってしまうことは、ちょっと寂しさを覚えます。そして、この3月まで7年間お世話になった尾松小学校の閉校にあたり、それに似たような気持ちを感じずにはられません。

春は、遠くの栗駒山を背景に、迫川沿いの美しい桜並木を通過して、かわいい子どもたちのいる尾松小学校まで通勤するのがとても好きでした。子どもたちに何を伝えようかと毎月悩んだ『のびのびタイム』。梅雨の晴れ間に、みんな汗をかきながら歯みがきをした、6月のむし歯予防教室。合宿での栗駒山登山は、なぜか必ずカップを着るはめに……。新型インフルエンザの流行や二度の大地震など、どれも尾松小学校での忘れられない思い出です。

尾松幼稚園入園から尾松小学校卒業までの間、本当に幸せに思います。家族や地域の方の姿を見て育った尾松の子どもたちは、素直で友達思い、自分の仕事をきちんとこなす子どもたちでした。そんな子どもたちに囲まれて過ごした尾松小学校での日々は、私の大切な宝物になっています。

## 尾松小学校での思い出

加藤 忠

赴任した年は5年担任で、学校田の活動がありました。長い間、稲作の指導をしてくださっている豊嶋さんに支えられながら、楽しく活動できました。その一方、私は現代の米作りも子どもたちに学ばせたいと考え、当時PTA会長の岩渕さんをお願いし、くりこま高原ファームでの育苗見学・田植機体験を行いました。この活動が今でも続けられていることに地域の支えの大きさを感じます。

平成19年度。校長・佐藤吉彦先生から「伝統となるものとして『夢のくりはら』を取り入れる」との提案。教頭・千葉米吉先生の故郷・大島から贈られた大漁旗と、文字の藍染めとを組み合わせた斬新なデザインの衣装が用意されました。「尾松小の新しい伝統の始まりだ！」と、習得練習にも力が入り、GOZAIN隊の方々の協力のもと、第1回目の披露で大成功を収めました。今では、伝統として根付いていることに喜びを感じます。何度か取り入れた地区席前での披露はどうでしたか。平成22年度。「閉校」を意識して、学習発表会の幕間にスライドショーをしました。

木造校舎、学校田活動の始まり……。作成しながら、歴史の大きさを感じると同時に寂しさも感じました。6年間、元気いっぱいの力士たちと惜しみない協力をしてくれた保護者の皆様に支えられた相撲も素晴らしい思い出です。団体戦での強さは格別でした。

尾松小学校で、たくさんの思い出ができました。感謝いたします。





## 追 想

昭和35年度卒 今野 久悦

近隣6ヶ町村の昭和の大合併により前栗駒町が誕生したのが昭和30年4月1日であり、その4月入学の私は栗駒町立尾松小学校栗原分校第1回入学生である。桜並木を通り分校での入学式、教室より望む校庭の桜の花、ピカピカの1年生の図工は桜の花の描写であった。60年近く経った今でも鮮明に覚えている。「光陰矢の如し」全くその通りである。

栗原分校は5学年まで在籍し全校児童数は170名前後だったでしょう。本校は6学年のみ在籍なので記憶は薄い。運動会・学芸会等は分校独自で開催されていた。今でいう芸術鑑賞会等は本校開催で全児童1時間位かけて歩いたものである。当時の鑑賞は映画が主流であった。これも思い出の一つである。

分校では、春には山菜採り、秋はキノコ狩りと焚き木集め又写生等でよく裏山（金成大原木との境）方面へ出かけた。遠方に栗原電鉄の電車がガタンゴトンとの音を伴い走るのを見て学友と共に大変喜んだものだ。都会を見た感じを受けたのは私のみではなかったでしょう。本当に新鮮であった。

前述の入学の話に戻るが、我が家では、私の昭和の大合併の入学、平成の大合併の17年に孫の綺香が栗原市立尾松小学校へ入学、さらに今度の栗原市立学校統合第1校目となる栗駒南小学校へ孫の湧翔が入学予定であり特別な思いである。

尾松小学校の卒業生の一人として校名が改名されても、親しんだ校歌の如く、たてる尾松の小学校である栗駒南小学校の益々のご発展をお祈りする。

## 尾松小学校の思い出

昭和35年度卒 山本 久雄

この度の尾松小学校の閉校に伴い、長い歴史をもつ本校に別れを惜しみながら寄稿いたしました。

私は、昭和35年の卒業と記憶しております。当時の学校は、本校に加え、2、3つの分校がありました。高松分校、桜田分校は3学年まであり、栗原分校は5学年まででした。私は、高松分校に在籍しておりました。1学年に高松・清水田両部落で15名おりました。いかに多かったか分かると思います。たまにある本校での映画鑑賞は唯一の楽しみであり、片道4キロの道程を腰に弁当をぶら下げ、1時間近く歩いて行ったものです。ワイワイ騒ぎながら歩いた光景は、今の時代には考えられないでしょう。

4年生になると本校に通学するようになり、一気に生徒数が増え、1学級45名位の人数で3クラスもありました。春には田植え休みがあり、学校が休みなので代かきや苗運び等を手伝ったものです。又、運動会や学芸会には、一日がかりでやったものです。学校の先生方も生徒数が多く、目が行き届かなかった事でしょうが、子ども同士でお互いに見たものです。何か悪い事をすると、“先生にかたろぞ” “父ちゃんに言うぞ” 等よく言われたものです。学校の先生と父親は、おっかない存在でした。今思うと、それが良かったのでしょうか。

あれから50年近く過ぎた今でも、子どもたちは未来の宝物です。私たち大人が、地域全体で温かく育てて行きたいものです。

結びに、新栗駒南小学校の発展を心よりお祈りいたします。





## 私と子どもの尾松小の思い出

昭和37年度卒 伊藤 悟

もう卒業して50年を迎えますので記憶も薄れてきていますが、私の小学校の頃はテレビもない時代でした。そのため、遊びと言えば「ビー玉」「めんこ」等、後は山から木を切って「刀」を作りチャンバラごっこ、自然の中での遊びが中心でした。

又、夏休みの思い出として、地区の子供会での勉強会がありました。場所は地区内の高台にある八幡宮という神社で、上級生が下級生の面倒を見て、勉強と遊びを皆でやった記憶があります。又、当時小学校にはプールがなかったので、近くの熊川や迫川で泳いだことも思い出されます。

私には3人の子ども（男だけ）がいますが、長男が小学4年の時に「尾松ジャガーズ」という少年野球チームに入り、6年までの3年間、各大会や練習試合で親子で楽しむことができました。二男、三男も同じように「尾松ジャガーズ」に入り、連続9年間お世話になりました。その間子どもたちは、「挨拶」「感謝」「努力」ということを学んだと思います。親の会の皆さんとの親睦も忘れられません。野球というスポーツを通して親と子の「絆」が深まったと確信しております。新校名になりましたが、野球チームをぜひ存続していただきたいと思います。

尾松小学校と言う校名はなくなりますが、139年の歴史は、決して消えません。私たちの心にいつまでも良い思い出のあった小学校として残るものと思います。

## 学校行事等の思い出

昭和39年度卒 狩野 勉

私は昭和34年入学、日本経済は好景気に向かっており、39年10月に東京オリンピックが開催され、国内は絶頂期でした。

私の6年生の同級生は140名。当時は、桜田・高松・栗原に分校があり、桜田・高松分校は4年生、栗原分校は6年生になると本校へ移って来ました。今の尾松小学校の全児童数と同じぐらいかと思われます。

運動会。当時は尾松中学校との合同開催でした。千人近い児童・生徒数でしたので、競技種目も少なく徒競走と地区対抗リレーのみ覚えがあります。又、昭和37年4月30日に運動会の総練習を行っていた時、お昼前に突然、大地震（宮城県北地震）が発生しパニック状態になり、その後のことは覚えがありません。ただ、次の日に登校すると、小中学校の校舎と体育館の窓ガラスがほとんど裂けていました。

修学旅行は、仙台・松島・塩釜でした。一日目は、塩釜から遊覧船に乗って松島見学。二日目は仙台市に来て市内（県庁等）見学と三越百貨店での買い物でした。でも、一番楽しかったことは宿泊で、今考えると田園地帯をバスが走っていたので作並温泉の宿かと思われます。

夕食が終わり部屋に戻って、消灯時間が過ぎても騒いだり、ふざけたりして先生に叱られたことも思い出です。

最後になりますが、今年度をもって尾松小学校が139年の幕を閉じ、平成24年度から栗駒南小学校となります。新たな小学校としてより一層の発展を祈念しております。





## 思い出の扉を開けて

昭和45年度卒 菅原 一栄

来年春、139年の長い歴史に終止符が打たれることを聞いた時、母校が閉校される残念な気持ちと、時代の流れなんだなあと寂しさを感じました。

私は、栗原分校で4年生まで学び、本校である尾松小学校の旧校舎では、5・6年生の2年間学びました。

この度、閉校記念誌への原稿依頼を受けたものの、40年以上前を振り返り、思い出すことは大変でした。幼い頃の記憶でもあり、頼れるものは卒業記念誌だけです。早速、部屋の書棚を探したところ、桜の花びら5枚の中心に尾松の尾が刻まれた校章が印刷された卒業記念アルバムを見つけ、思わず叫んでしまいました。私は、その場に座り込み、何十年ぶりに記念アルバムを開きました。

満開に咲いた桜の中に、懐かしい瓦葺の木造校舎と多くの子どもたちが遊び走り回った校庭の写真が飛び込んできました。よく見ると、校舎の天井付近からは、今は見られないストーブの煙突がそれぞれの教室から空に伸びているのが分かります。当然ですが、モノクロ写真が懐かしさを倍増させてくれたようです。

アルバムには同級生と恩師の集合写真を始め、大運動会や郡陸上大会で活躍している同級生の写真がありました。また、蔵王・山寺・仙台の一泊旅行の思い出の写真があり、蔵王のお釜と山寺の石段・青葉城を見学した時の記念写真がありました。同級生との初めての泊まりで、夜眠れず遅くまで騒いでいたのを思い出しています。

最後に、「尾松小学校」の長い歴史に尽力された方々に感謝いたします。そして、新たにスタートする「栗駒南小学校」を母校とする子どもたちや地域にとって、とても心地よい懐かしい場所であってほしいと願います。

## 尾松小学校の思い出

昭和46年度卒 宮澤 喜久美

♪仰ぐ栗駒山たかく、流るる迫の水清し・・・♪

懐かしい尾松小学校の校歌です。小学校時代の記憶が薄れていく中、今でもこの校歌は歌うことができます。この校歌を、長男の入学式で歌った時、「ああ、母校に帰ってきた。」という思いを強くしました。もうそれも20年近くも前になります。

さて、当時は車もなく6年間片道2キロの道のりを雨の中、また時には雪の舞う中を震えながら歩いて通学しました。でも、一人で通学することは殆どなく、登下校共友達と一緒に話をしながら、時には田んぼのあぜ道を遊びながら通いました。

校舎は木造で、東西に広がり、中庭をはさんで南校舎と北校舎がありました。学校で1台しかないテレビは、作法室という畳の部屋にあり、そこで6年生の時札幌で開催された冬季オリンピックを見たことを覚えています。冬には雪が透き間から入ってくるような教室でしたが、黒光りするくらい磨きあげられた大好きな校舎でした。

勉強したことはあまり覚えていませんが、楽しみだった土曜日のコーヒー牛乳、みんなで遊んだ馬跳びや石けり、女子に人気のお手玉やおはじき、雑巾で長拭きをした廊下、冬のストーブ当番、そんなことが懐かしく思い出されます。

でも、一番の思い出は、共に学び遊んだ友達やお世話になった先生方のことです。私たちは地元に残った同級生を中心に同級会「松の会」をつくっています。尾松小学校の名は消えてしましますが、私たちの心の中にこれからも生きていくことと思います。





## 心の礎を作ることが出来た学び舎

昭和47年度卒 蜂谷 聡

それは、今でもはっきり覚えています。母に手を引かれ、真新しいランドセルに新しい洋服、期待と不安を抱き、桜並木の正門をくぐった時の事を。目の前には大きな木造の校舎が聳え、正面玄関の横には二宮金次郎像があり、小学校の大きさを目の前にして母と共に体育館に入り入学式。昭和41年の4月の事でした。

1年生、2年生と学校の雰囲気にも慣れ、沢山友達が出来ました。3年生、4年生、5年生の時等は、先生に怒られない日は無かった様に記憶しております。ハンドベースボール、キックベースボール、三角ベース野球、ドッジボール等、体育の授業でやるスポーツですが、私たちの頃は、その教わったことがブームになり、放課後はそれにしばらく熱中したものでした。その他に、馬乗り、陣取り合戦、牛乳の蓋飛ばし、めんこ、ビー玉、お手玉、おはじき、あやとり、ゴム跳び、缶蹴り等、挙げたら限りがないくらいの遊びを学校で学びました。今現在も残っている校庭にある遊具のいくつかは、私たちの時代に作られたと記憶しております。今の時代から見れば、全員が腕白だったのかもしれない。そして卒業、古き良き時代の数限りない思い出は、尾松小学校という学び舎で厳しくも思いやりを持った先生方が、色々ご指導くださった賜物だと思います。

私たちにとって尾松小学校は、心の礎を作ることが出来た、生涯忘れることの出来ない学校だったことは間違いありません。

## 懐かしの尾松小学校

昭和52年度卒 氏家 吉廣

尾松小学校卒業生として、改めて、30数年前を振り返ってみると、以前の校舎の卒業生にとっては、木造の建物が思い出されるのではないのでしょうか。

私は、就職により地元を離れましたが、数年後小学校の前を通った際、以前の木造の校舎はなく、新しい現在の校舎に変わったことを知り、何とも言えない気持ちになったことを今でも思い出されます。

昔の校舎には、尾松小学校を象徴するような自慢の校舎だったような気がします。

現在では、校舎自体が一つの建物になっていますが、当時は、校舎の前後の建物が渡り廊下でつながっており、カタカタと音を鳴らしながら歩いたことも懐かしく思い出されます。

今回の震災では、電気、灯油等といろいろと不自由な思いをさせられましたが、その当時の暖房と言えば、教室の真ん中に煙突の付いただるまストーブがあり、毎日朝には学級ごとに用意されている薪とコークスを、当番が取りに行ったものです。

そのだるまストーブの周りには、家から持ってきた弁当箱をみんなで置いて、お昼には温かくして食べたことも思い出されました。

今回統合により校名が変わるということですが、校舎・校名が変わってもそれは時代の流れで、仕方のないことだと思います。

何よりも子どもたちが、明るく楽しく過ごせる学校であり続けていただきたいと思います。





## 思い出の尾松小学校

昭和52年度卒 渡邊 淳

私の卒業した当時は、旧校舎で、平屋建ての廊下が長く、薄暗くなると何か出てきそうな怖いイメージの校舎でした。どこの小学校にも当てはまるかと思いますが、夕方の不気味さは、今も忘れません。

そんな校舎でも子どもがいる時は、元気に教科書を読む声や音楽の授業での歌声が響き、明るい学校だったと思ひ出されます。掃除になるとバケツに水を汲み、廊下に並んで競争しながら雑巾がけをやりました。冬になると、暖房はだるまストーブで、少しでも温まるようにと弁当をストーブの周りに置いてみんなの弁当の臭いが混じり合う中、勉強していました。講堂（体育館）では、野球をして歴代校長先生の額縁にボールを当て落としそうになったり、ドッジボールでガラスを割ったり、校庭で真っ暗になるまで野球やソフトボールをしていました。

体育の授業の時に、校庭で栗駒山の残雪の種蒔き坊主を教してもらいました。それは、鮮明に記憶しています。春になると、山の残雪を見る度に思い出します。

たくさん子どもたちが巣立った尾松小学校が無くなるのは、時代の流れとは言え、非常に残念でなりません。我が家は、曾祖父母から始まり22名が尾松小学校を卒業しました。「本当に有り難う。お世話になりました。」と感謝したいと思います。

これからは、栗駒南小学校という新しい学校で歴史を作っていく子どもたちを応援していきたいと思ひます。

## 麻の中の蓬・・・かな

昭和53年度卒 高橋 夕起子

「あれから40年!!」のフレーズがぴったりの思い出の扉を開けてみよう。

赤茶けて瓦屋根の木造校舎が北と南に一棟ずつ。この瓦には尾松の歴史が焼きついている事を知ったのは大人になってからだったか……。渡り廊下に中庭。桜、ポプラ、楓、立派な松の木。体育指定校の頃は遊具も豊富で、整備された花壇は入賞し恵まれた中で過ごした記憶がある。

人生の中で基本となる部分を教えて頂いた先生との出会いは1年1組の教室から始まった。空気が張りつめる程、些細な事でも叱られ、何気ない行動さえ恥ずかしくなる程、褒められた。中高学年の頃には、陸上、水泳、コンクール等で好成績を残す活発な学年に成長していた。

月日は流れ、80歳を超えられ元気な先生を囲んで食事会をした時、「いつか皆に伝えたいと思っていたの。3回も担任しながら共に勉強の日々だった。厳しさは父兄に託されていた事。やさしさは父兄の心になって接した事。やりがいがあった。信頼あってこそ。それにしても少し叱り過ぎたかなあ……。」と語られた。大人になっても生徒のままの私たち。いつまでも甘えん坊で喜ぶ顔見たさに、お互い頑張っていると答えた。今更ながら、親、先生方、地域の方に守られ愛され関わってきたのに気付く。これからも前を向いて歩こうと思わせてくれる。

雄峰、栗駒山を背に、どっしりと強く、やさしい母校から、心も体も健康でまっすぐな子どもたちが、沢山巣立ちますよう卒業生として祈っています。





## 我が思い出の尾松小学校 ～閉校に寄せて～

昭和53年度卒 小野寺 勝美

寄稿依頼を受けてから、幼少期の思い出が書けるかと悩んだのですが、次々と鮮明に思い出が浮かび上がり、自分でも驚いています。それ程、小学校での体験は、人にとって印象深いものなのだと痛感しました。

私が通っていた頃の旧校舎は、桜や松の木がたくさん植樹され、前校舎と後ろ校舎があり、長い廊下で繋がっていた記憶があります。その長い廊下を利用して、業間時には全校で組体操が行われていました。軽快な音楽が校舎内に流れ、その曲に合わせて、個人やペアで運動をしました。

芝生がある大きな校庭では、竹馬もしました。校庭下には新しい遊具や花壇が整備され、どれも尾松小の自慢であった気がします。おかず給食も始まり、子どもながらにとっても嬉しく楽しみにしていました。6年時には、学校で宿泊学習が行われ、先生や友達と畳の大部屋で雑魚寝したことも思い出深い体験です。当時学んだことは心の財産となり、恩師や友達との絆は、現在も心の支えとなっています。

我が子2人が通った9年間は、親としてPTA活動に参加させてもらい、子どもが取り組んだ相撲を通して、さらに多くの地域の皆様と交流を深めることができたことに感謝しております。

尾松小学校は、来年度から『栗駒南小学校』として、新たな軌跡を築きあげていくこととなります。小学校での様々な体験や出会いが、一生の思い出や心の支えとなることもあります。

今後も、子どもたちがそういった体験ができることを期待し、健やかに成長していくことを願っております。

## 燃えろ！尾松小

昭和56年度卒 菊池 久美

小学校の思い出・・・記憶の中の引き出しから出してくるのに随分時間がかかってしまいました。我が家では、私と子どもたち2人も尾松小学校を卒業しています。

私の尾松小の思い出と言えば、“燃えろ！尾松小”という、先生が考案したダンスです。全校生徒が一丸となって練習し、運動会などで発表したような気がします。運動会が近くなると、業間などの時間も使って練習したような記憶があります。

尾松小学校と言えば、瓦屋根、木造の校舎、渡り板を並べただけの中央廊下、三角定規やコンパスを忘れると買いに行った購買、廊下を走るとガタガタ音をたてて揺れた窓ガラス、そして、何と言っても忘れられないだるまストーブです。日直が、新聞、薪、コークスで火をつけるのです。給食は、おかずのみだったので、毎日ご飯と箸は家から持っていきました。アルミのお弁当箱は、ストーブで温めることができたので、冬になるとほかほかのご飯が食べられたのを覚えています。とても貴重な体験だったと思います。

どれもこれも尾松小学校の思い出、歴史としてそれぞれの記憶の中に残っている事と思います。これからも、皆それぞれの記憶に残り、長い歴史を残してほしいと思います。





## 「ありがとう！尾松小学校」

昭和59年度卒 舟山 みゆき

今回、原稿を依頼され卒業アルバムを何十年ぶりに開きました。写真を見ながら当時の風景や肌で感じた感触、匂い等楽しかった小学校生活を鮮明に思い出しました。

私が卒業したのは、昭和60年3月で、新校舎で勉強することはありませんでしたが、先生が私たち卒業生のために、学校見学に招待して下さいました。今思えば、感謝で一杯です。私は木造校舎の木の温もりが好きでした。校舎を大切にしようにと教えられ、北風が吹く中での窓拭きや教室の雑巾がけをしたのを覚えています。子どもだったので清掃を遊びに変えていきました。誰が一番床をピカピカにするか競い合いました。木は磨けば磨くほど艶が出ることを学びました。また、校舎内には売店があり、鉛筆や消しゴム等売っていました。五右衛門風呂もありました。小学校にお風呂があることが不思議でしたが、五右衛門風呂がどのようなものか初めて学びました。お風呂のお湯は、床拭き用に使用し、今で言う「節水」の工夫でした。

尾松小学校は私にとって、大人になるための基礎作りをしてくれました。物を大切にすること、友達を大切にすること、そして今、社会人として人を大切にすることに繋がっています。すべては小学校での学びからスタートしました。

24年度から「栗駒南小学校」となりますが、未来へ歩んでいる子どもたちの夢をどのように膨らませてくれるか楽しみにしています。「ありがとう 尾松小学校」、そしてこれからもよろしく「栗駒南小学校」

## 「なかま」

昭和59年度卒 高橋 治

閉校記念誌への寄稿依頼があり、押し入れの奥にしまっておいた卒業アルバムを何十年ぶりに見ることにしました。

まず、目に入ってきたのが、今は無き校舎の様子でした。平屋の木造校舎で、屋根は瓦、冬になると教室にストーブが置かれ、窓から煙突が突き出る。給食前になると、そのストーブの周りにご飯の入った弁当を置き、温めて食べていたことなどを思い出しました。校舎自体は古かったけど、コンクリート造りにはない、温もりのある校舎でした。

校庭では、休み時間になると直ぐに教室から飛び出し、当時流行っていた「サッカー野球」をして遊んでいたことが思い出されます。

この木造校舎は確か2年がかりで取り壊され、私たちが卒業した年の6月に今の校舎が完成したと記憶しています。今も変わらず残っているのは、多分「正門」だけではないでしょうか。

そして、アルバムをめくると、幼い顔をした63人の懐かしい「なかま」の顔が写っていました。アルバムには、修学旅行で会津若松に行った写真や運動会、学芸会のものもありました。今も地域に残っている者は少なく、中学を卒業してから会っていない人も多くいる事に気づきました。

来年は宝来小学校との統合が成されます。私の世代で校舎が変わり、子どもの世代で校名が変わります。少子化の中で統合は仕方ない気がしますが、子どもたちにとっては新たな友が増えるわけです。最初は戸惑うかもしれませんが、直ぐに友達になれるはずです。

子どもたちには、新たな「なかま」たちと楽しい思い出をつくり、そして生涯の「親友」を見つけ、心に残るアルバムを作ってもらいたいと思います。





## 追憶

昭和61年度卒 阿部 幸誠

私は、昭和61年度卒業生です。今思い返しますと、尾松小学校に入学する時の不安や期待、在学中の様々な思い出、そして両親に見守られた卒業式などが懐かしくなります。この小学校に入学した事で楽しい仲間たちができ、共にいろいろな経験ができた事はとても幸せでした。印象深く思い返される事は二つあり、「花山合宿」と「尾松小学校の旧校舎解体」です。

「花山合宿」では、仲間たちとの初めての宿泊行事であり、仲間と喧嘩したり相談したりしながらオリエンテーションや野外炊飯といった初めての活動を楽しく過ごしたり、夜に遅くまで仲間たちと話し込んでいる所を先生に叱られたりした事が楽しい出来事として思い返されます。

「尾松小学校の旧校舎解体」については、少し寂しい思い出です。

私は新校舎で1年ほど学びましたが、当時は学校のあちこちで新校舎建設事業の工事が実施されており、その中でもバリバリと大きな音と土煙を上げて重機で解体されていく校舎や体育館を見ているのは、子どもながらに悲しくなり辛かった事を覚えています。

私にとって尾松小学校は、大切な仲間たちができ、学校の勉強だけでなく地域そのものを学び、様々な知識や経験を得てとても大きく成長できた所であり、今回の閉校はとても残念でなりません。しかし、現在愛娘も在学しており、尾松小学校も再編という形で閉校にはなりますが、これからも更に地域に密着した素晴らしい小学校となる事を楽しみにしています。

## 尾松小学校

平成元年度卒 渋谷 洋輔

私が尾松小学校に入学したのは、昭和59年の事でした。その当時は、まだ今の校舎ではなくて、木造の古い校舎でした。今となってはあまり記憶が無いのですが、古い校舎でも、みんなが元気で明るいイメージが残っています。

2年生の途中からは、現在の校舎に移ったのですが、他の小学校と違って、オープンラウンジやオープンスペースなど、あの当時では珍しかったのか、テレビ局が来て、夕方のニュースに映ったのを覚えています。特に新しい校舎に関して何も思っていなかったのですが、テレビに出た校舎を見た時には嬉しくて、これからこの学校に行けるんだと誇らしい気持ちになったのをなぜか覚えています。

年号が平成に変わり、平成2年の3月に卒業してからは、小学校に行く事もなくなり、疎遠になっていたのですが、自分の子どもが生まれて同じ学校に通うことになった時には嬉しく思いました。子どもと学校の話をする時も、お父さんが小学生の時にはこうだったとか、お父さんの時にはこんな行事があったんだよとか、話題が尽きません。

来年度からは、栗駒南小学校として新しくスタートする訳ですが、場所も校舎も変わらないのに校名が変わると思うとなぜか悲しい気持ちになります。素晴らしい小学校だったと改めて思います。

これから、栗駒南小学校に通う子どもたちには、栗駒南小学校になって良かったと思われるような、尾松小学校に負けないくらい素晴らしい小学校をつくっていただきたいと思います。





## ありがとう、尾松小学校

平成元年度卒 工藤 明子 (旧姓・木村)

今回閉校記念誌に寄稿する機会をいただき、小学校の頃を懐かしく思い返しています。中でも思い出深いのは、私が小学2年の時に新校舎が完成し、初めて校舎に足を踏み入れた時の感動です。斬新な造り、屋上の近未来的なベンチ、木のぬくもりいっぱいの廊下、教室。「すごい!!」と大歓声を上げて校舎を巡り、喜び、感動いっぱいだったこと。新校舎は、私たちの自慢であり、誇りでした。卒業してから何度かお邪魔しましたが、大切に使われてきた校舎は、時間が経ってもなお、私にあの時と同じ感動を与えてくれます。

校舎とともに私の自慢は、同級生です。平成元年度卒業生で会を作り、同級会を開いています。在学中から男女とも仲が良く、10年ぶりに会ってもすぐに小学生の頃に戻り、時間を忘れて盛り上がります。「みんなの顔見て、元気が出た。」「また、頑張ろうって思う。」そんな同級生の言葉に私も元気をもらっています。卒業してそれぞれの道を生きる中で、同級生との時間は子どもの心に戻って、自分の原点に戻り、ほっとできる大切な場所です。

学校生活では、我が子のように愛情いっぱいご指導いただいた先生方、地域の方々。おてんばな私はたくさん叱られたことも良い思い出です。子どもたちを温かく見守ってくださった大人の皆さんに育てられたのだと改めて思います。

新しい栗駒南小学校のスタートをお祝いするとともに、私の心に色褪せないたくさんの思い出をくれた尾松小学校に感謝します。

“ありがとう、尾松小学校”

こんなに素晴らしい学校の卒業生であることを誇りに思います。

## 陽だまりの仲間たち

平成7年度卒 佐藤 亜沙子

最高の友達に、最高の先生方がいた6年間。

私にとってこの尾松小学校での6年間は、全てが楽しい思い出ばかりです。今でも同級生が集まると、小学校の頃の思い出話は尽きることがありません。

オープンラウンジの赤いじゅうたんの上でみんなと一緒に遊んだり、中庭で誰かがコウモリを見付けてみんなで飼ったり、青い運動着のズボンにドーナツのようにまくってはくのが流行したりしました。

また、休み時間になると、「なわとび検定」「けん玉検定」に明け暮れたり、朝の自主学習の時間なのに逆立ちの練習をするぞ!!って言うおかしい先生がいたり、「おかあさん」と間違えて言ってしまうくらい親しみやすい先生がいたり、とにかく私にとっては素敵な6年間でした。

私が尾松小学校で過ごしていた間に今の宝来小学校ができて、私たちの友達も何名か、尾松小学校から宝来小学校へとかわっていきました。

それが今、『栗駒南小学校』と名を変え、尾松と宝来の子どもたちが一緒になって小学校生活を送る事に。私たちの尾松小学校は、名前を変えて新たなスタートを切りますが、これからは子どもたちにとって最高の学び舎であり続けて欲しいと心から思います。





## 感謝

平成11年度卒 今野 勇太

今回、尾松小学校が閉校になり、新しく『栗駒南小学校』として新たなスタートを切ることを残念に思うと共に、これからこの小学校で育つ子どもたちの将来が輝かしいものとなることを祈っています。

私が尾松小学校を卒業して、もう13年経ちます。時間が経つのは早く感じますが、多くのことを学び、成長させていただいたと思います。

運動会や水泳大会、委員会活動など行事はたくさんありましたが、記憶に深く残るのは水泳ではないかと思います。奇しくも私たちの代で尾松小学校のプールは建て替えられ、旧プールの最後の利用者となりました。

そのプールで初めて泳げた感動は、今でも心に残っていて、好きな科目の一つでもありました。

徐々に泳ぎを覚え、大会にも出られるようになったのは、本当に嬉しかったです。先生の指導や友達からのアドバイスで泳ぎが上達していき、北部水泳大会で自己記録を更新したりと、自分にとって満足のいく成績が残せたのも良い思い出です。

小学校時代に上手になりたいと、無我夢中で取り組んだことの一つであり、その経験が他の基礎となり、今の自分をつくっているのだと思います。

これからたくさん子どもたちが、新しい学校となる場で様々な経験をし、成長できることを祈り、また、これまで私たちを支え続けた母校に感謝します。

## 尾松小学校によせて

平成13年度卒 伊藤 由貴

尾松小学校閉校記念誌の寄稿依頼を頂いた時、「何年に卒業したんだっけ?」「まだそんなに経ってないよねえ」などと思ったのですが、なんと10年程になる事に時間の経つのは早いものだなあと気づかされました。

改めて「尾松小学校の思い出」というものを考えてみますと、こんなに用紙一枚にまとめるという事が難しく、読書感想文が苦手な小学生だった自分が、今まさにここにいる事に苦笑いをしていました。

「何も分からず戸惑った入学式」「楽しかった修学旅行」「希望を胸に抱いての卒業式」、そろそろ話す皆の声が聞こえてきそうです。

文字にしてしまえば何文字かで記されてしまう事ですが、何時間でも思い出話は尽きることはありません。

私の家族(祖父・両親・兄弟)は皆「尾松小学校」の卒業生です。校舎は新旧違っても、同じ学校で学んだ校歌を斉唱した者にとっては、尾松小学校という名がなくなる事は寂しい限りですが、時代の移り変わりとともに変化する事は仕方ない事です。

宝来小学校と一緒に、明るく楽しい「栗駒南小学校」を築いていって欲しいと願うばかりです。

最後に、学校名や校章は変わっても、尾松小学校の校舎があります。色あせる事なく、いろいろな思い出がよみがえるはずです。

何年、何十年経ったとしても、「尾松小学校」の校舎の前で皆さんと会い、思い出話ができると良いですね。このような機会を与えて頂いた事に感謝いたします。





## 伝統と夢

平成16年度卒 遠藤 ひより

私が尾松小学校を卒業し、6年以上の月日が経ちました。今でも友人との会話の中で、ふと「小学校の頃は・・・だった。」と、在学中の頃を思い出しては懐かしく思うことがあります。

尾松小学校は、屯ヶ岡や運動会、学芸会、田植えなどと生徒だけでなく地域の人々との交流が多々あり、私たちは幼い時から沢山の方々と交流し合える機会が多く、良き人間性を学べる環境で生活することができました。学年が上がり、新1年生が入学する度に徐々に責任感が増していき、休み時間になるとサッカーや鬼ごっこをし、夏にはプール、冬にはそりや雪遊びをし、小学生らしい小学校生活を味わうことができました。

私の思う尾松小学校の良さは、あいさつです。在学中によく先生からあいさつの大切さを教えられ、あいさつを欠かさずするようになりました。今でも尾松小学校の生徒とすれ違うと元気にあいさつをしてくれて、とても清々しい気持ちになります。あいさつは、尾松小学校の伝統と言っても良いでしょう。

私は、毎日給食が楽しみでした。給食委員という活動をし、献立作成や栄養に関する知識を知り、興味を持ちました。尾松小学校は、今では珍しい校内で給食を作っている学校なので、それを見ていて私も「食」に携わる職に就きたいと思い、今は栄養学を学んでいます。

尾松小学校は、楽しかった思い出だけではなく、私に夢を与えてくれました。新しく栗駒南小学校になるにあたって、尾松小学校の伝統を忘れず、夢を見つけられる学校になることを願っています。

## 尾松小学校の思い出

平成18年度卒 吉尾 美香

私は今、高校2年生ですが、尾松小学校を卒業した一人です。小学校が平成24年度からは、「栗駒南小学校」として新たにスタートするというので、私からしてみたら、母校の名が変わるのでちょっとさびしいです。

尾松小学校はとても静かなところがありますが、校舎に入ると低学年から高学年まで子どもたちがたくさんいて、走り回ったりとかなり賑やかで、笑い声が絶えません。そして、何よりも先生方の指導がとても厳しかったことを覚えています。休み時間が終わった後までも騒いでいると教室から怒鳴られた事がありました。小さいながらも、とても傷ついたので。その時に初めて、先生を嫌いになりました。すごく単純な少女でした。

そして、行事の一つである運動会も記憶に残っています。ライバルに負けたくない、一生懸命に走ったのを覚えています。結果、満足せずに泣いてしまったことがありました。そこで先生がなぐさめてくれたことで、嫌いだった先生に対する態度が変わりました。厳しさの中に優しさがしっかりとありました。

私が無事卒業できたのも、たくさんの思い出が生まれ、優しい先生方が側にいてくださったからです。尾松小学校が私の母校であったことをとても嬉しく思います。

在校生のみなさん！友達とたくさんの思い出をつくり、先生にたくさん怒られ、「栗駒南小学校が母校でよかった」と思えるような学校生活にしてください。





## 変わらないもの

平成19年度卒 安藤 寧花

私が尾松小学校を卒業してから早くも4年が経ち、高校生になりました。しかし、今でも尾松小学校で過ごした6年間は忘れることなく思い出に残っています。

中学校に入学したとき、他の小学校の卒業生とよく自分の小学校の自慢をし合っていました。私もたくさん尾松小学校の自慢をしましたが、卒業してから改めて尾松小学校の良さに気づくことができました。

尾松小学校の良い所は、まず行事にあると思います。運動会で一番盛り上がる6色対抗リレーとむかで競走は、今でももう一度やりたいと思うほどです。そして、私たちの代から始まった「よさこい」もあります。

屯ヶ岡祭りは、私の一番好きな行事でした。1回目の屯ヶ岡では各学年との交流と地域の方々との交流ができ、誰でも楽しめるお祭りです。2回目の収穫祭では、自分たちで作った米や野菜を食べ、食材への感謝と大地の恵みを感じました。

尾松小学校の行事は伝統があり、当たり前なことでもとても大事なことを教えてくれるものばかりです。

私が小学1年生の時、6年生に休み時間に遊んでもらい、とても嬉しかったことも覚えています。そして、私も6年生になった時、低学年の子とたくさん遊びました。その時の楽しかった思い出、子どもたちの笑顔が忘れられず、私の将来を選ぶきっかけとなりました。

尾松小学校は、思い出の詰まった大切な場所であり、それぞれが心身共に成長した場所であること、それは変わりありません。

## 僕を大きくしてくれた尾松小学校

平成20年度卒 小野寺 春樹

32名で入学した僕たちは、初めての勉強や給食にわくわくしながら通っていました。学校では、係の仕事や給食当番などを行い、自分の役目を学びました。

行事では、運動会や校外学習、水泳大会、田植えや稲刈り、音楽祭、持久走大会、屯ヶ岡祭り、学習発表会など、たくさんの行事を経験させていただきました。

運動会では、縦割り班に分かれ1年生から6年生までが協力し合い、一つのチームになります。普段から各学年が仲良くなれる良いきっかけになりました。

屯ヶ岡祭りでは、5年生が苗を手植えし、秋に手で稲を刈り、それを収穫し、餅にしてみんなで食べます。おじいさんやおばあさんも招待し、いろいろな味の餅をいただきました。

このようなたくさんの行事を毎年行い、とても思い出に残る小学校生活でした。

その他に、尾松小学校では立派な土俵があり、たくさんの生徒が相撲をとっています。とても良い成績を収めた先輩方もたくさんいます。

尾松小学校の良い所は、たくさんあり過ぎて書ききれませんが、一番に言えるのは、尾松小学校の生徒で良かったということです。とても親切な先生方に支えられ、このように大きくなることができました。

来年度から校名が「栗駒南小学校」に変わりますが、僕を大きくしてくれた尾松小学校はこれからも残ります。そして、栗駒南小学校になっても、心の大きな人をたくさん育ててほしいと思います。

ありがとう、僕を大きくしてくれた尾松小学校。





<p>尾松小学校さようなら、そしてありがとう!!                  H29                  1年生より</p>		<p>こうせいくん</p>	<p>ぼくは、おまつ小、がっこう                  のなまえがなくなるのが                  かなしいけど、これからがんばる。</p>
<p>はなちゃん</p>	<p>がっこうのなまえがかわるのは                  はいやだけど、たのしかったので                  まつ小がここにありがとうをいいたいです。</p>	<p>りっくん</p>	<p>おまつしょうがっこうじゃなくなるの                  でさびしいです。おまつしょう                  がこころはたのしかったです。</p>
<p>そうちゃん</p>	<p>おまつしょうがっこうでめあ                  てがまもれませんでした。2ねん                  せいになつたらまもりたいです。</p>	<p>たいくん</p>	<p>ぼくは、おまつしょうがっこうで                  もっとべんきょうしたかった                  です。</p>
<p>そらくん</p>	<p>もっとこのがっこうでや                  りたいけど、たくさん                  おもいでができました。</p>	<p>すっちゃん</p>	<p>おまつしょうがっこうのなまえが                  なくなるのはさびしいけど、くりこま                  みなみしょうがっこうでみんなとがんばります。</p>
<p>こころちゃん</p>	<p>おまつしょうがっこうがよかったけれど                  でもなまえがかわるのはしつこ                  かなしいです。これからがんばります。</p>	<p>ゆいちゃん</p>	<p>おまつしょうがっこうがあるのがさびしい                  です。でも、つきは、くりこまみなみし                  ょうがっこうなので、いっぱいがんばります。</p>
<p>りんちゃん</p>	<p>おまつしょうがっこうがなくなる                  ことはさびしいけど、またい                  いおもいでをつくりたいです。</p>	<p>みちちゃん</p>	<p>おまつしょうがっこうのなまえがなくな                  るけど、くりこまみなみしょうがっこうで                  べんきょうしたかったです。</p>
<p>ゆづちゃん</p>	<p>おまつしょうがっこうでい                  ななまえがなくなるのはさびしいです。</p>	<p>いっちゃん</p>	<p>おまつしょうがっこうでべんきょうが                  たのしかったです。ちがうがっこうにな                  ってもたのしくしたいです。</p>
<p>せいちゃん</p>	<p>おまつしょうがっこうでい                  いおもいでができました。あとべん                  きょうもがんばりたいです。</p>	<p>まいちゃん</p>	<p>1ねんかんたうたけど                  いっは、いおもいで出が                  ったのでよかったです。</p>
<p>ひなちゃん</p>	<p>おまつしょうがっこうはすこ                  なくりこまみなみしょうがっこうになるの                  がかなしいです。おまつしょうがっこう                  でした。</p>	<p>ともちゃん</p>	<p>おまつしょうがっこうという                  なまえがなくなるから                  すごくかなしいです。</p>
<p>しゅうくん</p>	<p>おまつしょうがっこうって                  いうなまえがなくなるか                  らさびしいです。</p>	<p>まよちゃん</p>	<p>ほんとにおまつしょうがっこうがな                  くなるけど、あたらしい小がっこうでも                  いっぱいがんばりたいです。</p>





運動大会で  
女の子一位  
になれたこと  
がうれしかった

ぼくの昔の  
思い出はプールで  
おしゃべり  
ことです。

たておいて  
おそんを  
思い出になり  
ました。

ぼくの思い出は  
きょう走大会を  
がんばりました  
うれしかった

ぼくの思い出は  
なすスイーツを作  
ったこと  
です。

ぼくのいちばん  
の思い出は  
みんなでスイーツ  
を作ったこと  
です。

ぼくはうんと  
泳いでうんと  
泳いでうんと  
泳いでうんと  
泳いでうんと

私は、きょう走  
大会が一番の思い出  
です。あせをかきながら  
走りました。

ぼくは、きょう  
走大会で  
がんばった  
ことが思い出  
です。

プールでおよ  
ぶようになった  
ことがうれ  
しかったです。

ぼくが一番の思  
い出は、みんな  
でスイーツを作  
ったことです。

ぼくのいちばん  
の思い出は、うんと  
泳いでうんと  
泳いでうんと  
泳いでうんと



ありがとう 思い出いっぱい 尾松小学校 2年生



わたしの思い出  
は、スイーツ作  
りです。

わたしの一番の  
思い出は、プ  
ールです。

学校のプールで  
おしゃべり  
がうれし  
かったです。

ぼくは、きょう  
走大会で  
がんばりました  
うれしかった

わたしの一番の思  
い出は、みんな  
でスイーツ作  
りです。

ぼくが一番の  
思い出は、みんな  
でスイーツ作  
りです。

ぼくは、きょう  
走大会で  
がんばりました  
うれしかった

わたしの一番の思  
い出は、みんな  
でスイーツ作  
りです。

学級会は、みんな  
でがんばりました  
それが思い出  
です。

一番の思い出は、  
みんながスイーツ  
を作ったこと  
です。

わたしは、スイーツ  
を作ったこと  
が思い出  
です。

ぼくが一番の思  
い出は、みんな  
でスイーツ作  
りです。







四年生  
尾松小学校  
一番の思い出

運動会です。1年〜4日7日など  
よく頑張った思い出が沢山あります。  
よく思い出したことを書きます。

ぼくが一番思い出しているのは  
校外学習です。中を見  
るとプラネタリウムでした。  
面白かったです。

はなげでせさい  
ちやがくも心  
たのしかったのか  
うたひす。

4年の男子で毎日  
サッカーをして楽し  
かったです。

私は4年生の学習発表会で星の観察  
会を開催しました。成功したのがうれし  
い。4年生の生活にモチベーション  
です。

尾木公小の給食が、す  
ごくおいしかったです。思  
い出に残りました。  
4年♡

なわとび大会で  
二重とびが56回とび  
たことが一番楽し  
かったです。

4年生の校外学習で  
プラネタリウムで星を見た  
のが一番の思い出です。

3年生の時に校外  
学習で松島へ行  
く。うんせんにのったのが  
たのしかったです。

夏にきれいなプ  
ールで泳いだことが  
一番の思い出です。

3年生のなわとび大会  
です。三位だったけど、  
いしんき記録を出せた  
で心に残りました。

3年生の時、運動会で初めて  
YOSHIO(ゆめのこりほ)を習  
った。YOSHIOはすぐ前から習  
い、いきました。4年生にな  
って学習発表会  
でかよくできてよかったです。

ぼくが一番思い出  
しているのは校外  
学習です。電車  
1人乗りのとき  
は楽しかったです。

4年生の学習発表会でよこしんき  
記録を出したことが思い出  
です。4年生の生活にモチ  
ベーションです。

ぼくは3年生の時のなわとび大会  
で二重とびが20回くらい出  
せました。うれしかったです。  
思い出です。

2年生のときの遠足が一番  
楽しかったです。  
ぐんま県立公園に行  
ったことが  
楽しかったです。

私は友達が多かったです。  
1年生の時、友達が多  
かったけど、やさしい友  
達ができてうれしかったです。

ぼくが一番の思い出は4年間  
サッカーをしてきていま  
でも尾松小学校一番の  
ことです。

みんなと一緒に  
仙台のプラネタリ  
ウムに行ったこと  
です。

4年生の男子の子  
みんなで楽しいサ  
ッカーができてよ  
かったです。

ぼくは、4年間男子  
のみんなと一緒に  
サッカーをして  
楽しかったです。

3年生の時の校外  
学習で松島に行  
ったことが  
楽しかったです。





私は、尾松小学校に来たのが、三年生の二学期後半でした。(とてもきやかなクラスなんだなあ)と思い、最初に声をかけてきたのは、李渚ちゃん。その日は、もう友達になった気分でした。宝来の6人のと仲良くしたいです。

新しい学校になり、新しい友達が増えるのは、少々心配ですが、尾松小学校としての伝統はこれからも私達が引きついでいきます。

尾松小学校での生活はとても楽しくみんなと遊んで楽しかった。開校になることはとても悲しいけれど、栗駒南小学校に変わっても楽しくしたいです。

1年生から五年生まで尾松小学校はぼくたちを守ってくれてくれました。尾松小学校という学校名で卒業したかったのですが、宝来の人たちが中心になっていてほしいです。ありがとうございました。尾松小学校

尾松小学校の思い出は、1.運動会の6色対抗リレー2.宿泊学習にいったこと3.センター祭りぼくたちの学校は思い出の学校です。

ぼくは、尾松小の卒業生です。宝来といっしょになって栗駒南小学校になって尾松小がなくなってもいいです。11月までありがとう。

尾松小学校で一番の思い出は、クラスみんなで米を作ったことです。米が出るまで大変でした。尾松小学校が大好きです。

1年生から5年生まで尾松小学校にお世話になりました。尾松小学校の名前で生活できるのが最後です。僕の思い出は運動会でした。宝来といっしょになっても楽しく過ごしたいです。

尾松小学校の一番の思い出は、センター祭りや運動会などたくさんあります。来年は栗駒南小学校に名前が変わっても尾松小学校は忘れません。

五年間過ごして尾松小学校がなくなることがさびしいです。来年、栗駒南小学校になるから宝来の人たちと仲良く過ごしたいです。

この五年間で楽しかったこと  
1.校外学習(飯沼山や山を登って楽しかった)  
2.学習発表会(おもしろい)  
3.運動会(優勝したとき)  
とてもいい五年間でした。宝来のみんなと力を合わせてがんばりたい!

尾松小学校の思い出は、楽しかったことおんなじになっておもしろい。栗駒南小の6年生としてみんなと過ごしたいです。

五年間で一番楽しかったことは、休み時間と昼休みに男子のぼんちでサッカーをしたことです。今日はどうなるのか楽しみで思い出に残っています。

学芸会やプールなどいろいろな行事があっても楽しかった。宝来1年生や2年生の人とも友達になりました。尾松小がなくなるとは、ちょっとさびしいです。

五年間過ごした尾松小学校という学校が閉校して(まうのはざんねんですが)新しく栗駒南小学校になる宝来小学校の人と一年間楽しい思い出を作りたいです。

# さようなら尾松小学校

## ～5年間の感謝をこめて～

尾松小学校として過ごしてきた五年間は、思い出がいっぱいです。運動会、学習発表会とても楽しい思い出でした。栗駒南小学校になっても楽しい思い出をつくりたいです。

尾松小学校の伝統は、栗駒南小学校でそとぎれないよつに守りつづけてたいです。宝来の人たちが仲よくなって栗駒南小学校での新しい学校生活を送りたいです。

ぼくの五年間の思い出は、運動会のむかでりーでした。むかでりーは、チームワークがないと前へすすめません。栗駒南小になったら、復活させたいです。

自分としては尾松小の卒業生として、でも交流してこのクラスもなくなると思ったり、新しい友達も増えるのも楽しみです。ありがとう尾松小。

尾松小学校の運動会やセンター祭りをしてきて楽しかった。来年は栗駒南小学校になるから、宝来といっしょに学芸会や運動会などをして楽しみたいです。

新しい友達が増えるのが楽しみです。でも尾松小学校がなくなるとはさびしいです。思い出の中で、センター祭りがなくなるとはさびしいなと思いました。

尾松小学校という名前もとうとう最後です。ぼくは今までで、学習発表会が思い出に残りました。宝来といっしょになっても仲良くしたいです。

尾松小学校が開校して宝来小学校といっしょになっても宝来のみんなと先生と話をしたり、仲よくなりたいです。

尾松小学校ありがとう。栗駒南小学校になるけど、いままて、運動会、なわとび大会、センター祭り、学習発表会などをして楽しく過ごしたいです。

尾松小学校で、勉強や運動その他にも、たくさんの事を学びました。栗駒南小学校になっても、たくさんの事を学びたいです。

来年は尾松小学校という名前はなくなり、まう学習発表会でも最後の思い出として、演技をしたいと思います。宝来といっしょになっても尾松小の思い出をおすすめします。





**閉校記念誌実行委員会  
委員長 三浦 絵美**

甚大な被害をもたらした3.11東日本大震災・・・、校舎や体育館も大きな被害を受けました。幸い、先生方の適切で迅速な判断、そして誘導により、児童は全員けがもなく無事に帰宅することができました。被災された皆様方には、心よりお見舞い申し上げます。

さて、創立から138年を迎えた本校も、平成23年度末をもってその歴史を閉じることになりました。この度の閉校にあたり、多くの皆様方のご協力により、閉校記念誌を発行する運びとなりました。誠にありがとうございます。

短い期間での準備であったため、各年代別に卒業アルバムから思い出の写真を抜粋させていただきました。当時の行事や生活の様子をご覧いただきたいと思います。創立百周年記念として植樹した「サツキ」と「ケヤキ」42本も大きく成長しました。

多くの方々からお寄せいただいた貴重な原稿やアルバムを拝見させていただきながら編集を進めるにしたいが、長きにわたる本校の歴史を再確認し、歴代校長や教職員をはじめ、諸先輩方の様々な思いやご苦勞に触れることができました。

最後になりますが、ご多忙の中ご寄稿くださいました方々、また様々なご協力、ご支援を賜りました皆様方に厚く感謝と御礼を申し上げ、編集後記といたします。

**栗原市立尾松小学校閉校記念誌**

発 刊 平成24年2月

発 行 栗原市教育委員会

企画・編集 栗原市立尾松小学校閉校記念誌実行委員会

